

様式第6号

宮崎市地域コミュニティ活動交付金実績報告書

令和5年5月11日

宮崎市長 清山 知憲 殿

主たる事務所の所在地	宮崎市祇園1丁目49番地
名 称	中央西まちづくり推進委員会
代表者の氏名	委員長 徳満 秀夫
電話番号	0985-69-0507

令和4年5月31日付けで変更交付承認のありました宮崎市地域コミュニティ活動交付金については、宮崎市地域コミュニティ活動交付金に関する規則第18条第1項の規定により、関係書類を添えて実績報告書を提出します。

添付書類

- (イ) 収支決算書
- (ロ) 事業実施報告書
- (ハ) 事業別収支計算書
- (ニ) 備品管理台帳

(様式第5号)

令和4年度 事業実施報告・収支決算書

中央西地域自治区  
中央西まちづくり推進委員会

1. 総括

令和4年度は、コロナ蔓延防止対策を十分に行い、地域のニーズに応じた事業を実践することを目標として行った。縮小開催するなど内容を検討し、地域の自治会はもちろん、小・中学校、高校、大学、各種団体と中央西まちづくり推進委員会が連携することで、地域が一体となった事業が実施された。

2. 収支決算

(1) 収入の部

単位：円

項目	予算 a	決算(見込) b	差異 b - a	備考
基礎交付金	4,153,000	4,153,000	0	
前年度繰越金	2,269,000	2,269,000	0	
その他(雑収入)	50	49	1	
参加者負担金	45,000	30,000	15,000	
合計	6,467,050	6,452,049	15,001	

(2) 支出の部

部会	分野	事業名	実施 年数	予算 c	決算(見込) d	差異 c-d	備考
生活安全	防 1	中央西地区防犯事業	14年目	123,000	77,791	45,209	
	防 2	中央西地区防災事業	14年目	231,000	175,938	55,062	
	防 3	中央西地区青色パトロール隊事業	12年目	475,000	436,049	38,951	
地域福祉	福 4	健康ふくしまつり事業	14年目	549,000	342,961	206,039	
	福 5	高齢者と子どもの居場所づくり事業	7年目	234,000	86,258	147,742	
	福 6	講習会事業	4年目	31,000	15,626	15,374	
地域振興	再 7	中央西地区親睦ミニバレーボール大会事業	14年目	119,000	122,640	3,640	
	再 8	中央西地区大運動会事業	14年目	684,000	613,549	70,451	
	環 9	リサイクル事業	12年目	6,000	3,240	2,760	
	環 10	中央西花のまちづくり事業	11年目	320,000	284,450	35,550	
	伝 11	ふるさとの歴史伝承事業	8年目	73,000	2,073	70,927	
子ども育成	教 12	子どもとおとなの交流会事業	13年目	257,000	152,360	104,640	
	教 13	体験学習事業	10年目	185,000	103,481	81,519	
	教 14	子育てサポート事業	8年目	129,000	58,289	70,711	
	教 15	子どもふれあい広場事業	7年目	226,000	173,477	52,523	
その他	他 16	事務局運営事業	11年目	996,050	1,002,426	6,376	
	他 17	まちづくり広報事業	9年目	1,236,000	357,750	878,250	
	他 18	地域の魅力アップ事業	9年目	50,000	16,380	33,620	
	他 19	中央西みんなの情報ひろば事業	7年目	433,000	428,620	4,380	
	他 20	災害対応資機材等購入事業	4年目	110,000	31,560	78,440	
	他 -	予備費	-	-	-	0	
次年度繰越金					1,967,131	1,967,131	
合計				6,467,050	6,452,049	15,001	

### 3. 実施報告

#### [ 1 ] 防犯・防災に係る事業

事業名	中央西地区防犯事業	実施年数	14 年目												
事業期間	開始：平成 2 1 年度	終了：なし													
地域魅力発信プランとの関連	<p>近所づきあいで、ゆとりのあるまち          地域全体で子どもたちを見守るまち &lt;安全なまちづくり&gt;          (1)通学路等におけるパトロールの実施や朝のあいさつ運動</p>														
目的 (期待される効果)	<p>児童・生徒たちの登下校時の交通事故防止、防犯のため、各自治会・民児協・青少協・老人クラブ・PTA・公立大ボランティア・青パト等の各種「防犯パトロール隊」が円滑に効率的に活動できるよう連携を図り、安心・安全なまちづくりを推進する。</p>														
事業内容・手段	<p>1. 新 1 年生に交通安全定規の贈呈を実施          ・令和4年4月20日...江平小学校          ・令和4年4月21日...附属小学校          ・令和4年4月27日...西池小学校</p> <p>2. 防犯パトロール隊連絡体制会議 令和4年6月15日          &lt;出席団体・機関&gt;          各自治会、民児協、青少協、青少年指導委員高千穂班、各小中学校、各小中学校PTA、交番所管区長、青パト隊、地域事務所          登下校時の見守り活動やパトロール活動(該当団体)の個別報告により、情報の共有化と連携強化が図られた。</p> <p>3. パトロール用グッズとして要望のあった雨合羽を購入し配付した。</p> <p>4. 特殊詐欺対策講座 令和4年8月26日          警察庁のビデオ放映を行い、地域住民に特殊詐欺の手口を知らせた。</p>														
事業費	77,791 円														
対象者	中央西地区住民														
参加者数 (内訳)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>令和 4 年度</th> <th>令和 3 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般参加者</td> <td>延べ 433 人</td> <td>延べ 447 人</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>延べ 17 人</td> <td>- 人</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>延べ 450 人</td> <td>延べ 447 人</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">隊員数と講座参加者数</p>			年 度	令和 4 年度	令和 3 年度	一般参加者	延べ 433 人	延べ 447 人	スタッフ	延べ 17 人	- 人	合 計	延べ 450 人	延べ 447 人
年 度	令和 4 年度	令和 3 年度													
一般参加者	延べ 433 人	延べ 447 人													
スタッフ	延べ 17 人	- 人													
合 計	延べ 450 人	延べ 447 人													
住民の声(アンケートの結果等)	<p>・見守り活動やパトロール活動が交通事故防止や犯罪抑止に繋がりを、安全で安心なまちづくりの一助となっている。</p> <p>・住民より防犯のための巡回要望があった場合は、指定場所の巡回も実施している。</p>														

自己評価(評価：A 良い B 普通 C 要改善)

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項	
		本年度	前年度				本年度	前年度		
住民主体のまちづくり	地域ニーズの把握	B	B	連絡体制会議前にアンケートによる意見収集を実施し、円滑な活動のために必要な消耗品を揃え配布している。	広報	事業の周知	B	B	隊員募集ちらし、中央西まちづくり新聞を自治会会員に配布している。HP情報ひろばにも掲載し周知している。	
	住民の参加	B	B	各自治会や各種団体を中心に、ボランティアを募っている。		事業の効果	課題解決への作用	B	B	各防犯パトロール隊員の高齢化が課題であり、隊員募集活動を継続していくことが必要である。
効果的・効率的な取組み	地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	各自治会や地域内の小・中学校からの要望を受けて、取り組んでいる事業である。			住民の満足度	A	A	小学生及び保護者への認知度も高く、感謝しているとの声があがっている。
	各種団体との連携	A	A	自治会は登校時の危険場所、民児協は下校時の交通量の多い場所において重点的に活動している。	事業継続の必要性		○有 ・ 無			
良かった点・改善点等		<良かった点や改善した点等> ・西池小学校で青色パト隊の紹介をオンライン方式で行うなど、青パト隊の広報活動にも取り組んだ。								
地域協議会からの意見への対応		<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）> <意見への対応>					対応	未 ・ 済		
地域協議会からの意見への対応		<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）> <意見への対応>					対応	未 ・ 済		

3. 実施報告

[ 1 ] 防犯・防災に係る事業

事業名	中央西地区防災事業 (災害図上訓練：DIG)	実施年数	4年目															
事業期間	開始：平成31年度	終了：なし																
地域魅力発信 プランとの関連	近所づきあいで、ゆとりのあるまち 災害に強いまちづくり (1)災害に対する啓発を行い、防災意識の向上																	
目的 (期待される効果)	1 災害図上訓練(DIG訓練)を行うことで、地域の防災対策などを考えることで防災意識を掘り起こし、防災を実践できる人材を育てる。 2 DIGを実施して、「人を知り、地域を知り、災害を知る」一助となる。																	
事業内容・手段	日時：令和4年9月21日(水) 19:00~21:00 場所：宮崎西地区交流センター 学習室 内容：DIGとは何かを知るためにまちづくり推進委員会の委員を対象に実施した。 防災士基礎コースの資料を用いて、内部講師(防災士)により実施した。																	
事業費	42,897 円																	
対象者	中央西まちづくり推進委員会 委員																	
参加者数 (内訳)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>まちづくり</td> <td>21人</td> <td>生徒 18人</td> </tr> <tr> <td>地域事務所</td> <td>3人</td> <td>先生 4人</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>2人</td> <td>スタッフ 8人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>26人</td> <td>30人</td> </tr> </tbody> </table> <p>*令和3年度は、HUG訓練を宮崎西中学校で実施 *令和4年度は、DIG訓練をまちづくり委員で実施</p>			年度	令和4年度	令和3年度	まちづくり	21人	生徒 18人	地域事務所	3人	先生 4人	スタッフ	2人	スタッフ 8人	合計	26人	30人
年度	令和4年度	令和3年度																
まちづくり	21人	生徒 18人																
地域事務所	3人	先生 4人																
スタッフ	2人	スタッフ 8人																
合計	26人	30人																
住民の声(アンケートの結果等)	まちづくり推進委員同士で、地図を見ながらどのような災害が考えられるか、避難時機・経路などの問題点や課題を共有し、一緒に考え、意見を述べ合うなかで連帯感が生まれた。																	

自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項	
		本年度	前年度				本年度	前年度		
住民主体のまちづくり	地域ニーズの把握	A	A	災害に対する、防災・減災は重要な関心事項である。	広報	事業の周知	B	A	今回は参加者を限定したため、事業の周知も限定された。	
	住民の参加	B	A	参加者は全て地域住民である。		事業の効果	課題解決への作用	B	B	防災・減災に対する基礎知識の習得に繋がった。
効果的・効率的な取組	地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	まちづくり推進委員を対象に、防災研修の一環として実施した。			住民の満足度	B	A	防災・減災の必要性を再認識することができたと思われる。
	各種団体との連携	B	A	参加者の多くが、自治会など地域内の団体に所属している。	事業継続の必要性		有・無			
良かった点・改善点等		<p>&lt;良かった点や改善した点等&gt;</p> <p>まちづくり推進委員に対する、防災研修の一環として実施することができた。今後も継続して、地域の防災力向上に寄与していきたい。</p>								
地域協議会からの意見への対応		<p>&lt;地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）&gt;</p> <p>&lt;意見への対応&gt;</p>					対応	未・済		
地域協議会からの意見への対応		<p>&lt;地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）&gt;</p> <p>&lt;意見への対応&gt;</p>					対応	未・済		

3. 実施報告

[ 1 ] 防犯・防災に係る事業

事業名	中央西地区防災事業 (ストリートウォッチング)	実施年数	12年目
事業期間	開始：平成23年度	終了：なし	
地域魅力発信 プランとの関連	近所づきあいでゆとりのあるまち 災害につよいまちづくり (1) 災害に対する啓発を行い、防災意識の向上		
目的 (期待される効果)	<p>児童が災害時に自ら判断し行動できるよう意識づける。</p> <p>児童に自治会など地域に見守られて生活していること、支え合いながら生活していることを理解させる。</p> <p>児童が訪れる施設の方々も災害や危険箇所について、もう一度考えるきっかけづくりになる。</p> <p>地域の方々や引率や説明ポイントで説明することにより、児童と地域の方々との交流を図ることができる。</p> <p>地域住民の防災情報として活用できる資料を作成し、地域に発信する。</p>		
事業内容・手段	<p>日時： 令和4年12月6日(火) 9:30～11:30 令和4年12月8日(木) 9:30～11:30</p> <p>場所： 総合文化公園に集合後、西池小までの2日間20のコース</p> <p>&lt;内容&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・宮崎公立大学、西池小学校と連携し、西池小学校5年生を対象に、予め設定した地域内のコースを調査した。</li> <li>・調査は、1日目12コース、2日目8コースで行い、災害時に危険な場所、安全な場所などをチェックしながら歩いた。</li> <li>・引率は、道路事情などをよく知る地域の方をお願いし、訪問施設では担当の方に各施設の災害等の取り組みについて説明して貰った。</li> <li>・説明ポイントでは、地域の方から災害関連や自治会の活動等の話をして貰った。</li> </ul>		
事業費	1,658 円		
対象者	中央西地区住民、西池小学校、宮崎公立大学生		
参加者数 (内訳)	年 度	令和4年度	令和3年度
	西池小5年生	180人	150人
	スタッフ	延べ 68人	延べ 41人
	その他	延べ 6人	延べ 6人
	合 計	延べ 254人	延べ 197人
住民の声(アンケートの結果等)	<p>コースの設定・所要時間については概ね良いとの声が寄せられた。</p> <p>また説明ポイントで説明者が不足したため、2ヶ所掛け持ちで対応せざるを得なくなったことは、今後の課題である。</p>		

自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	地域ニーズの把握	A	A	小学生の防災意識の向上が図られ大変良い事業であるとのアンケート結果を得られた。	広報	事業の周知	A	A	NHKとMRTで放送、宮日新聞に掲載された。
	住民の参加	A	A	地域の15施設が参加(1施設は初)。初参加の住民の方もいた。		事業の効果	課題解決への作用	A	A
効果的・効率的な取組	地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	地域の子供達への防災教育として大変重要であり、地域の防災力向上の一助となる。	事業の効果		住民の満足度	A	A
	各種団体との連携	A	A	企画段階から西池小学校、宮崎公立大学と連携して実施することができた。		事業継続の必要性			有・無
良かった点・改善点等		<p>&lt;良かった点や改善した点等&gt;                      今年度は5クラスが対象のため、コースの設定に苦心したが地域内の施設の協力を得て実施することができた。合わせて、説明ポイントも増やす必要があったので、津波避難ビルを追加して対応した。</p>							
地域協議会からの意見への対応		<p>&lt;地域協議会からの意見（令和3年5月・ ）&gt;                      &lt;意見への対応&gt;</p>					対応	未・済	
地域協議会からの意見への対応		<p>&lt;地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）&gt;                      &lt;意見への対応&gt;</p>					対応	未・済	



### 3. 実施報告

#### [ 1 ] 防犯・防災に係る事業

事業名	中央西地区防災事業 (防災訓練)	実施年数	14年目												
事業期間	開始：平成21年度	終了：なし													
地域魅力発信 プランとの関連	近所づきあいで、ゆとりのあるまち 災害に強いまちづくり (1)災害に対する啓発を行い、防災意識の向上														
目的 (期待される効果)	防災訓練を通して地域の防災力の向上、住民の防災意識(自助、共助、協働)の醸成を図り、災害に強いまちづくりを推進する。														
事業内容・手段	日時：令和4年11月6日(日)10:00~12:00 場所：宮崎西地区交流センター 内容：起震車による地震体験、軽トラ地震実験、水消火器体験 防災資機材及び防災機器の取扱体験、避難所体験、 防災チェックコーナー、防災パネル並びにグッズ展示、 段ボールベッド・簡易トイレ、DVD災害映像視聴 防災アプリの使い方 ペットとの同行避難についての講話														
事業費	131,383 円														
対象者	中央西地区住民														
参加者数 (内訳)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般参加者</td> <td>209人</td> <td>0人</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>86人</td> <td>0人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>295人</td> <td>0人</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right;">令和3年度は中止</p>			年度	令和4年度	令和3年度	一般参加者	209人	0人	スタッフ	86人	0人	合計	295人	0人
年度	令和4年度	令和3年度													
一般参加者	209人	0人													
スタッフ	86人	0人													
合計	295人	0人													
住民の声(アンケートの結果等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害について身近に感じる取組みで、いざという時の備えが必要だと改めて感じた。</li> <li>・スタンプラリーで子どもも楽しく回れ、色々体験出来て、防災を学べて良かった。</li> <li>・ペットについて考えなくてはと思っていたので、良い機会でした。</li> <li>・避難所へ行くのはハードルが高いと思っていたので、今日知れてよかったです。</li> <li>・防災リュックの中身が足りないと思ったので、少しずつ買いそろえていきたい。</li> </ul>														

自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項	
		本年度	前年度				本年度	前年度		
住民主体のまちづくり	地域ニーズの把握	A	A	防災関連の訓練は繰り返し行うことが大切であり、地域のニーズと合致する。	広報	事業の周知	A	A	開催案内チラシを作成し、地域住民に配布した。HP情報広場・LINEに掲載。	
	住民の参加	A	A	地域の自治会、小、中学校へチラシを配布していたため、多くの参加申し込みがあった。			事業の効果	課題解決への作用	-	-
効果的・効率的な取組	地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	まちづくり推進委員会の基幹事業の一つであり、地域内で定着している。		住民の満足度			-	-
	各種団体との連携	A	A	中央西自治連、北消防署、市危機管理部、小・中学校のPTAと連携し開催した。			事業継続の必要性		有 ・ 無	
良かった点・改善点等		<p>&lt;良かった点や改善した点等&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・HPやLINEでの広報も効果があり、初参加の人が67%であった。</li> <li>・スタンプラリー方式で行ったことにより、家族連れの参加が多かった。</li> <li>・軽トラでの地震発生実験、防災アプリの使い方、避難所体験、起震車、水消火器、講話等、親子でも楽しく学べる点が良かった。</li> <li>・限られた時間内で体験できなかったという声も聞かれたので工夫したい。</li> </ul>								
地域協議会からの意見への対応		<p>&lt;地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）&gt;</p> <p>&lt;意見への対応&gt;</p>					対応		未 ・ 済	
地域協議会からの意見への対応		<p>&lt;地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）&gt;</p> <p>&lt;意見への対応&gt;</p>					対応		未 ・ 済	

### 3. 実施報告

#### [ 1 ] 防犯・防災に係る事業

事業名	中央西地区青色パトロール隊事業	実施年数	12年目																				
事業期間	開始：平成23年度	終了：なし																					
地域魅力発信プランとの関連	<p>近所づきあいで、ゆとりのあるまち</p> <p>地域全体で子どもたちを見守るまち&lt;安全なまちづくり&gt;</p> <p>(1)通学路等におけるパトロールの実施や朝のあいさつ運動</p>																						
目的 (期待される効果)	<p>定期的に青色パトロールカーで地域内を巡回することで、児童の安全および犯罪の防止を図り、安全なまちづくりを推進する。効果として、「犯罪者を寄せ付けない効果」「地域住民に安心を与える効果」「みまもり効果」が期待できる。</p>																						
事業内容・手段	<p>地域内住民の隊員で構成されたパトロール隊による定期巡回</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・青色パトロール車にて(2名以上乗車)、毎水曜、金曜の児童下校時間帯に安全声かけを行った。また、防犯のため巡回希望の地区は複数回の巡視も行っている。</li> <li>・同様に、夜間パトロールを月2回実施し、地域内の公園などを重点的に巡回することで、犯罪の防止に努めた。また、公園内のごみの回収も実施し環境美化にも務めている。</li> </ul>																						
事業費	436,049 円																						
対象者	中央西地区住民																						
参加者数 (内訳)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th colspan="2">令和4年度</th> <th colspan="2">令和3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>昼</td> <td>95回</td> <td>延べ 252人</td> <td>60回</td> <td>延べ 158人</td> </tr> <tr> <td>夜</td> <td>23回</td> <td>延べ 70人</td> <td>13回</td> <td>延べ 36人</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>118回</td> <td>延べ 322人</td> <td>73回</td> <td>延べ 194人</td> </tr> </tbody> </table>			年 度	令和4年度		令和3年度		昼	95回	延べ 252人	60回	延べ 158人	夜	23回	延べ 70人	13回	延べ 36人	合 計	118回	延べ 322人	73回	延べ 194人
年 度	令和4年度		令和3年度																				
昼	95回	延べ 252人	60回	延べ 158人																			
夜	23回	延べ 70人	13回	延べ 36人																			
合 計	118回	延べ 322人	73回	延べ 194人																			
住民の声(アンケートの結果等)	<p>青色パトロールカーで巡回中に下校中の児童や生徒が手を振って応えてくれることが、隊員の励みになっており活動継続のパワーにもなっている。</p>																						

自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項	
		本年度	前年度				本年度	前年度		
住民主体のまちづくり	地域ニーズの把握	A	A	防犯活動は地域住民には非常に重要で関心も高い。	広報	事業の周知	A	A	児童の下校時間帯は、青パト活動の広報と合わせて安全運転の呼び掛けも行っている。また、防犯パトロール隊連絡体制会議でも活動内容を報告している。	
	住民の参加	B	B	地域内の住民（各種団体所属の住民を含む）が多数参加して活動している。		事業の効果	課題解決への作用	A	A	青色パトロール隊の活動が地域内の犯罪抑止に繋がっていると思われる。
効果的・効率的な取組み	地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	地域内の防犯活動として定着しており、まちづくり推進委員会としては妥当で重要な取り組みである。		住民の満足度	A	A	地域内住民の満足度は高いと考えられる。	
	各種団体との連携	B	B	地域内の関係団体との連携も図られている。	事業継続の必要性		有・無			
良かった点・改善点等		<良かった点や改善した点等> 夜間パトロール時に実施しているごみの回収は、地道で根気のいる作業であるが、ごみは分別し数量も記録しているので、公園緑地課の広報・啓発活動に活用して欲しい。								
地域協議会からの意見への対応		<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）> <意見への対応>					対応	未・済		
地域協議会からの意見への対応		<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）> <意見への対応>					対応	未・済		

3. 実施報告

[ 2 ] 地域福祉に係る事業

事業名	健康ふくしまつり事業	実施年数	14年目												
事業期間	開始：平成21年度	終了：なし													
地域魅力発信プランとの関連	支えあう地域づくり老いも若きも心ひとつに 高齢者・障がい者がいきいきしているまち <高齢者・障がい者の生きがいづくり> (1)高齢者、障がい者と子どもの交流の場の提供 各世代が支えあうまち<3世代交流の推進> (1)各世代が助けあえるように世代交流の推進														
目的 (期待される効果)	地域住民が健康について見直す機会を提供し、自ら健康づくりを始めるきっかけを作るとともに、高齢者・障がい者、子どもを含む地域住民同士が触れ合える居場所を提供することで世代間交流を推進する。														
事業内容・手段	日時：令和4年12月4日(日) 10:00~12:00 場所：宮崎西地区交流センター 内容： <ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども広場(アートバルーン/お手玉/皿回し)</li> <li>・食と健康の広場(南九大：栄養管理学科)</li> <li>・地域カードの部屋(公立大：国際文化学科)</li> <li>・外国語読み聞かせ(公立大：地域研究センター)</li> <li>・赤ちゃん・幼児体操(ぴよすけ)</li> <li>・脳トレ/DVDでの健康体操(包括支援センター)</li> <li>・体組織チェック/福祉用具展示(池部医療器(株))</li> <li>・体力測定・介護技術指導/介護相談(理学療法士会)</li> <li>・食品実験(南九大：石田ゼミの学生)</li> <li>その他、交通安全コーナー など</li> </ul>														
事業費	342,961 円														
対象者	中央西地区住民														
参加者数 (内訳)	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">年 度</th> <th style="width: 35%;">令和4年度</th> <th style="width: 35%;">令和3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般参加者</td> <td>198 人</td> <td>0 人</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>110 人</td> <td>0 人</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>308 人</td> <td>0 人</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right;">令和3年度は中止</p>			年 度	令和4年度	令和3年度	一般参加者	198 人	0 人	スタッフ	110 人	0 人	合 計	308 人	0 人
年 度	令和4年度	令和3年度													
一般参加者	198 人	0 人													
スタッフ	110 人	0 人													
合 計	308 人	0 人													
住民の声(アンケートの結果等)	・小さい子から高齢者の方まで幅広い年代の方が参加されていて良かったと思います。 ・初めて来てすごく楽しかったです。貴重な経験を子どもができ、ここに引っ越してきて良かったと思いました。														

自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項	
		本年度	前年度				本年度	前年度		
住民主体のまちづくり	地域ニーズの把握	A	-	健康と福祉の活動を実際に体験でき、諸団体と地域住民が直接触れ合えるイベントに毎年多くの方が参加することからニーズは高い。	広報	事業の周知	A	A	自治会回覧他、HP情報ひろばへの掲示などを通して広く周知した。	
	住民の参加	A	-	子どもから高齢者まで幅広い年代からの参加があった。		事業の効果	課題解決への作用	A	-	コロナ禍の中、健康に関心を持つ来場者が多く、健康の大切さを意識するきっかけづくりになっている。
効果的・効率的な取組	地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	-	まちづくり推進委員会の基幹事業の一つであり、地域内で定着している。			住民の満足度	A	-	午前中のみとして開催規模を縮小したが、本来の健康に関する催しを実践できた。想定以上の参加者数であった。
	各種団体との連携	A	-	包括支援センター、理学療法士会、公立大、南九大、民間の医療機器会社など広く連携できた。		事業継続の必要性	(有) ・ 無			
良かった点・改善点等		<p>&lt;良かった点や改善した点等&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・同時開催となった子ども育成部会の「わんぱく広場」とのシナジー効果で多くの参加者があった。</li> <li>・コロナ禍の中、参加するブースが少なかったが包括支援センター、理学療法士会、大学、民間の医療機器会社等の協力を得て多くの方が参加した。きずなプロジェクトの方々の協力も大きな力となった。</li> </ul>								
地域協議会からの意見への対応		<p>&lt;地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）&gt;</p> <p>&lt;意見への対応&gt;</p>					対応	未・済		
地域協議会からの意見への対応		<p>&lt;地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）&gt;</p> <p>&lt;意見への対応&gt;</p>					対応	未・済		

### 3. 実施報告

#### [2] 地域福祉に係る事業

事業名	高齢者と子どもの居場所づくり事業	実施年数	7年目												
事業期間	開始：平成28年度	終了：なし													
地域魅力発信プランとの関連	支えあう地域づくり 若いも若きも心ひとつに ①気軽に集まれる場所のあるまち＜地域活動の拠点づくり＞ (1) 気軽に集い交流を深めることができる場や機会の充実														
目的 (期待される効果)	高齢者と若者との交流の場を提供し外出や社会参加の促進を図る。 地域で高齢者の見守りが出来る体制を整える。 高齢者の居場所を作り心身の健康づくりや介護予防の促進を図る。 子育て世代が気軽に集まれる居場所、相談できる環境を整える。														
事業内容・手段	地域内にある施設を利用して、一人暮らしの高齢者や子育て世代の親子を対象に、各サロンや講座を開催し、体操や茶話会などを実施した。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者サロン「おおきな木」は地区外へ移転となったため、やむなく撤退となった。</li> <li>・同じく「中央保育園」も使用許可がおりず一時撤退となった。</li> <li>・新たに高齢者サロン「めじろぢゃ屋」を11/2に開館した。</li> <li>・地区社協、公立大との連携事業「サロンdeぴーすけ」</li> <li>・子育てサロン「びよスケ」</li> </ul>														
事業費	86,258 円														
対象者	中央西地区住民														
参加者数 (内訳)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般参加者</td> <td>延べ 289 人</td> <td>延べ 283 人</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>延べ 223 人</td> <td>延べ 82 人</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>延べ 512 人</td> <td>延べ 365 人</td> </tr> </tbody> </table>			年 度	令和4年度	令和3年度	一般参加者	延べ 289 人	延べ 283 人	スタッフ	延べ 223 人	延べ 82 人	合 計	延べ 512 人	延べ 365 人
年 度	令和4年度	令和3年度													
一般参加者	延べ 289 人	延べ 283 人													
スタッフ	延べ 223 人	延べ 82 人													
合 計	延べ 512 人	延べ 365 人													
住民の声 (アンケートの結果等)															

◆自己評価 (評価：A 良い B 普通 C 要改善)

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項	
		本年度	前年度				本年度	前年度		
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	A	A	協議会および各種団体より高齢者の地域参加を強く望まれている。また、地域内の子育て世代の交流の場としても大切な役割を果たしている。	広報	⑤事業の周知	A	A	自治会回覧、福祉協力員による広報を行った。中止の場合は、電話による連絡で周知した。	
	②住民の参加	B	B	コロナウイルスの影響により外に出る機会が少なくなる中、サロン開催の日は、近所の方をお誘いして参加される方が多かった。		事業の効果	⑥課題解決への作用	B	B	参加者の少ないサロンには、他のサロンの活動内容を積極的に公開し、口コミを主体に参加者増を図った。
効果的・効率的な取組	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	高齢者と子ども、子育て世代の親の居場所づくり活動として意義が大きい。			⑦住民の満足度	A	A	サロンを交流の場として楽しみにされている。
	④各種団体との連携	A	B	社会福祉協議会と相互に連携をとっている。	事業継続の必要性		有 ・ 無			
良かった点・改善点等		<良かった点や改善した点等>								
地域協議会からの意見への対応		<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）> <意見への対応>					対応		未 ・ 済	
地域協議会からの意見への対応		<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）> <意見への対応>					対応		未 ・ 済	



評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項	
		本年度	前年度				本年度	前年度		
住民主体のまちづくり	地域ニーズの把握	A	A	協議会および各種団体より高齢者の地域参加を強く望まれている。また、地域内の子育て世代の交流の場としても大切な役割を果たしている。	広報	事業の周知	A	A	自治会回覧、福祉協力員による広報を行った。中止の場合は、電話による連絡で周知した。	
	住民の参加	B	B	コロナウイルスの影響により外に出る機会が少なくなる中、サロン開催の日は、近所の方をお誘いして参加される方が多かった。		事業の効果	課題解決への作用	B	B	参加者の少ないサロンには、他のサロンの活動内容を積極的に公開し、口コミを主体に参加者増を図った。
効果的・効率的な取組	地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	高齢者と子ども、子育て世代の親の居場所づくり活動として意義が大きい。	事業の必要性		住民の満足度	A	A	サロンを交流の場として楽しみにされている。
	各種団体との連携	A	B	社会福祉協議会と相互に連携をとっている。		事業継続の必要性	有 ・ 無			
良かった点・改善点等		<良かった点や改善した点等>								
地域協議会からの意見への対応		<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）>					対応		未 ・ 済	
地域協議会からの意見への対応		<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）>					対応		未 ・ 済	

### 3. 実施報告

#### [ 2 ] 地域福祉に係る事業

事業名	講習会事業	実施年数	4年目												
事業期間	開始：平成31年度	終了：なし													
地域魅力発信プランとの関連	支え合う地域づくり若いも若きも心ひとつに 各世代が支えあうまち<3世代交流の推進> (1) 各世代が助けあえるように世代交流の推進)														
目的 (期待される効果)	地域福祉に関する講習会(勉強会)を開き、福祉に関する正しい知識や理解を得る。														
事業内容・手段	講習会(フレイル予防大作戦~健康長寿に効く"ワザ"紹介~) 日時：令和4年9月28日(水) 14:00~15:30 19:00~20:30 場所：宮崎西地区交流センター 参加人数： 16名 13名 講師： 佐藤 信吾 様 久保野 祐子 様 (宮崎市福祉部 地域包括ケア推進課 介護予防係)														
事業費	15,626 円														
対象者	中央西地区住民														
参加者数 (内訳)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般参加者</td> <td>29 人</td> <td>20 人</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>4 人</td> <td>4 人</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>33 人</td> <td>24 人</td> </tr> </tbody> </table>			年 度	令和4年度	令和3年度	一般参加者	29 人	20 人	スタッフ	4 人	4 人	合 計	33 人	24 人
年 度	令和4年度	令和3年度													
一般参加者	29 人	20 人													
スタッフ	4 人	4 人													
合 計	33 人	24 人													
住民の声(アンケートの結果等)															

自己評価(評価：A 良い B 普通 C 要改善)

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	地域ニーズの把握	B	B	高齢化社会において認知症や福祉に関する知識は地域ニーズが高い。	広報	事業の周知	B	B	講習会の募集をちらしやHP「みんなの情報ひろば」やLINEで行った。
	住民の参加	A	A	20代から80代までの申込や参加があった。			事業の効果	課題解決への作用	B
効果的・効率的な取組	地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	各世代が集いあえる機会を創出することが必要。	事業の効果	住民の満足度			A
	各種団体との連携	A	A	地域包括ケア推進課と連携を取った			事業継続の必要性		有・無
良かった点・改善点等		<p>&lt;良かった点や改善した点等&gt;</p> <p>講習会の時間帯を昼と夜にしたことにより、様々な事情を持つ住民にとって申込みやすくなった。参加者からは内容を家族や知人に伝えたい、これからもさらに知識を得るための講座への参加やフレイル体操等の実践をしたいとの前向きな意見が多かった。</p>							
地域協議会からの意見への対応		<p>&lt;地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）&gt;</p> <p>&lt;意見への対応&gt;</p>					対応	未・済	
地域協議会からの意見への対応		<p>&lt;地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）&gt;</p> <p>&lt;意見への対応&gt;</p>					対応	未・済	





### 3. 実施報告

#### [4] 地域再生に係る事業

事業名	中央西地区親睦ミニバレーボール大会事業	実施年数	14年目												
事業期間	開始：平成21年度	終了：なし													
地域魅力発信 プランとの関連	<p>動く美しく活力のあるまち</p> <p>④スポーツを利用した絆づくり&lt;スポーツ振興&gt;</p> <p>(1)スポーツレクリエーションを通じた住民の交流</p>														
目的 (期待される効果)	<p>ミニバレーボールという誰でも参加できるスポーツを通して、情報交換や交流の場をつくり、地域振興、生涯スポーツを目指すことで世代間の交流を深め、地域の方の健康づくり、地域の活性化を推進する。</p>														
事業内容・手段	<p>中央西まちづくり推進委員会と中央西地区体育会の共催で開催し、中央西地区体育会は競技の運営を行い、まちづくりは企画、広報、準備などを担当した。</p> <p>今年度は、大人はミニバレー、小学生は屋外でレクリエーションを行った。</p> <p>日時：令和4年7月10日（日）</p> <p>場所：北部記念体育館、祇園運動広場</p> <p>内容：大人27チーム（141名）、子ども23名</p>														
事業費	122,640 円														
対象者	中央西地区住民														
参加者数 (内訳)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般参加者</td> <td>164 人</td> <td>149 人</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>17 人</td> <td>14 人</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>181 人</td> <td>163 人</td> </tr> </tbody> </table>			年 度	令和4年度	令和3年度	一般参加者	164 人	149 人	スタッフ	17 人	14 人	合 計	181 人	163 人
年 度	令和4年度	令和3年度													
一般参加者	164 人	149 人													
スタッフ	17 人	14 人													
合 計	181 人	163 人													
住民の声（アンケートの結果等）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・親睦が図られました。こういう機会があるとありがたいです。</li> <li>・子どもの預かり場も設けて頂き、とても良い大会だと思います。</li> </ul>														

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項	
		本年度	前年度				本年度	前年度		
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	A	A	スポーツを通じて、互いに楽しく交流している。次回も参加したいとの声が多く、親睦が深まっている。	広報	⑤事業の周知	A	A	自治会、小学校、中学校へチラシ配布。HPみんなの情報ひろばに掲載。SNSで配信。交流センターにチラシ設置。	
	②住民の参加	A	A	地域の幼稚園や小学校のPTAチーム、同好会チームなどの参加が多い。また地域内の事業所チームの参加もあり、地域の活性化に繋がっている。		事業の効果	⑥課題解決への作用	A	A	一つのスポーツを共有することによって、地域住民間の横のつながりが生まれ、絆作りの一つとなっている。
効果的・効率的な取組	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	ミニバレーボール大会を通して、地域住民や各種団体との連携が図られている。			⑦住民の満足度	A	A	交流の場として人気があり、また、運動を始めるきっかけとなり次回も参加したいとの声も多い。
	④各種団体との連携	A	A	中央西地区体育会と連携を行い、共催事業とした。	事業継続の必要性		有 ・ 無			
良かった点・改善点等		<良かった点や改善した点等> 感染症対策をしながらの開催であったが、参加者の理解と協力で好評を得られた大会となった。子どもの部も、前年のニュースポーツとは少し目線を変えたレクリエーションに変更して好評だった。								
地域協議会からの意見への対応		<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）>  <意見への対応>					対応		未 ・ 済	
地域協議会からの意見への対応		<地域協議会からの意見（令和 月・ ）>  <意見への対応>					対応		未 ・ 済	

自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	地域ニーズの把握	A	A	スポーツを通じて、互いに楽しく交流している。次回も参加したいとの声が多く、親睦が深まっている。	広報	事業の周知	A	A	自治会、小学校、中学校へチラシ配布。HPみんなの情報ひろばに掲載。SNSで配信。交流センターにチラシ設置。
	住民の参加	A	A	地域の幼稚園や小学校のPTAチーム、同好会チームなどの参加が多い。また地域内の事業所チームの参加もあり、地域の活性化に繋がっている。			事業の効果	課題解決への作用	A
効果的・効率的な取組	地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	ミニバレーボール大会を通して、地域住民や各種団体との連携が図られている。		住民の満足度			A
	各種団体との連携	A	A	中央西地区体育会と連携を行い、共催事業とした。			事業継続の必要性	有・無	
良かった点・改善点等		<良かった点や改善した点等> 感染症対策をしながらの開催であったが、参加者の理解と協力で好評を得られた大会となった。子どもの部も、前年のニュースポーツとは少し目線を変えたレクリエーションに変更して好評だった。							
地域協議会からの意見への対応		<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）>  <意見への対応>				対応		未・済	
地域協議会からの意見への対応		<地域協議会からの意見（令和 月・ ）>  <意見への対応>				対応		未・済	



3. 実施報告

[ 4 ] 地域再生に係る事業

事業名	中央西地区大運動会事業	実施年数	14年目												
事業期間	開始：平成21年度	終了：なし													
地域魅力発信プランとの関連	<p>動く美しく活力のあるまち 地域の伝統行事を大切にするまち&lt;伝統行事の継承&gt; (1) 地域の大切な伝統行事である大運動会や地域の祭りを次世代に継承</p>														
目的 (期待される効果)	<p>中央西地区の運動会を開催し、スポーツを通して各自治会、各種団体、住民相互の連携を図り、地域間や世代間の交流を深めることにより明るい健全なまちづくりを目指す。</p>														
事業内容・手段	<p>まちづくり推進委員会地域振興部会と中央西地区体育会、子ども会、小・中学校、大学、自治会等による実行委員会を組織し、中央西地域全体の事業として取り組んだ。 また、コロナ禍を考慮し午前中だけの開催とした。 日時：令和4年10月30日(日) 9:00～12:00 場所：西池小グラウンド</p>														
事業費	613,549 円														
対象者	中央西地区住民														
参加者数 (内訳)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般参加者</td> <td>631人</td> <td>0人</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>43人</td> <td>0人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>674人</td> <td>0人</td> </tr> </tbody> </table> <p>令和3年度は中止</p>			年度	令和4年度	令和3年度	一般参加者	631人	0人	スタッフ	43人	0人	合計	674人	0人
年度	令和4年度	令和3年度													
一般参加者	631人	0人													
スタッフ	43人	0人													
合計	674人	0人													
住民の声(アンケートの結果等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3年ぶりの大運動会開催で、久しぶりに顔を合わせる人もいて親睦が図れた。</li> <li>・今回のように午前中(半日)で終わる方式が良い。</li> <li>・高齢化が進む中、会場の西池小まで行くことができないという声が少しずつ増えてきました。</li> </ul>														

自己評価(評価：A 良い B 普通 C 要改善)

評価項目	評価	特記事項	評価項目	評価	特記事項
------	----	------	------	----	------

評価項目		本年度	前年度	付記事項	評価項目		本年度	前年度	付記事項
住民主体のまちづくり	地域ニーズの把握	A	-	幼児から高齢者まで幅広い年代の地域住民が一体となって参加出来る活動である。	広報	事業の周知	A	A	チラシの自治会全戸配布、西池小・西中への配布。HP情報ひろばによる周知。
	住民の参加	B	-	自治会対抗の大運動会であるが、全住民が参加出来、地域住民の健康増進、住民同士の交流にもなっている。今後の課題は減少傾向にある住民参加率の向上。		事業の効果	課題解決への作用	A	-
効果的・効率的な取組	地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	-	地域全住民参加対象の大運動会は、各自治会同士の交流・地域活性化の一端を担っている。			住民の満足度	A	-
	各種団体との連携	B	-	自治会・体育会とも連携をとり取り組んでいる。今後の課題は地域内の他の団体や事業所との連携。	事業継続の必要性		有 ・ 無		
良かった点・改善点等	<p>&lt;良かった点や改善した点等&gt;  感染対策をした上で、競技内容の見直しを行ない、参加者が無理なく競技に参加出来る様、適切に設定している。  (競技種類や年齢、能力等に応じた見直しや、参加者からの意見等を取り入れながら設定)  今年も、大きな怪我等なく終える事が出来て良かった。</p>								
地域協議会からの意見への対応	<p>&lt;地域協議会からの意見(令和 年 月・ )&gt;  &lt;意見への対応&gt;</p>						対応	未・済	
地域協議会からの意見への対応	<p>&lt;地域協議会からの意見(令和 年 月・ )&gt;  &lt;意見への対応&gt;</p>						対応	未・済	

3 . 実施報告

[ 3 ] 環境に係る事業

事業名	リサイクル事業	実施年数	12 年目												
事業期間	開始：平成 23 年度	終了：なし													
地域魅力発信 プランとの関連	<p>動く美しく活力のあるまち          ごみのないきれいなまちづくり&lt;環境保全活動の推進&gt;          (1) ごみ減量のため、リサイクルを促進</p>														
目的 (期待される効果)	<p>エコ活動を実践することでリサイクルの仕組みを学び、ゴミ減量やCO2削減など自然や人を大切にする心を育み、住みよいまちづくりを目指す。</p>														
事業内容・手段	<p>宮崎西地区交流センター入り口に設置した回収ボックスを活用し、ブルタブ(アルミリング)や古切手などを地域住民に呼びかけて回収した。その回収を通して、美しい環境保全に関する意識の高揚を図った。</p> <p>ブルタブ 13.9 kg (累計 281.0 kg )          古切手 12月26日送付した。</p> <p>「ふくしまつり」の際にボランティアコーナーを設置し、参加者に回収している古切手を見てもらい、また送付出来る状態にする事で、取り組みの周知と住民参加の取り組みとした。</p>														
事業費	3,240 円														
対象者	中央西地区住民及び宮崎西地区交流センター利用者														
参加者数 (内訳)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>令和 4 年度</th> <th>令和 3 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般参加者</td> <td>5 人</td> <td>- 人</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>10 人</td> <td>- 人</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>15 人</td> <td>0 人</td> </tr> </tbody> </table>			年 度	令和 4 年度	令和 3 年度	一般参加者	5 人	- 人	スタッフ	10 人	- 人	合 計	15 人	0 人
年 度	令和 4 年度	令和 3 年度													
一般参加者	5 人	- 人													
スタッフ	10 人	- 人													
合 計	15 人	0 人													
住民の声(アンケートの結果等)															

自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項	
		本年度	前年度				本年度	前年度		
住民主体のまちづくり	地域ニーズの把握	B	B	地域住民が資源の大切さの理解を深め、リサイクル活動を身近に感じていただき自主的に参加できるようにする。	広報	事業の周知	A	A	地域振興部会委員が地域での呼びかけ。HP情報ひろばでの広報。まちづくり広報事業「中央西まちづくり新聞」での発信。	
	住民の参加	A	A	交流センターに回収ボックスを設置し、地域住民に広く利用できるようにしている。		事業の効果	課題解決への作用	A	A	ゴミの減量を目指すため、身近にできるリサイクルとして有効である。
効果的・効率的な取組	地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	ゴミの減量化・再資源化の為、まちづくり推進委員会が広報し主体的に活動する事で地域住民のリサイクルの意識を高める。			住民の満足度	A	A	ゴミの減量化について、地域住民も一緒に考えさせられる事業である。
	各種団体との連携	B	B	地域の各種団体に様々な行事ごとに声をかけをし、さらに啓発を深めていくことが必要である。	事業継続の必要性		有・無			
良かった点・改善点等		<p>&lt;良かった点や改善した点等&gt;</p> <p>コロナの影響等で例年より回収量は少なかったが交流センターで回収をしている事は広く認知されてきている。リサイクルや環境についての意識向上の為に継続して活動していきたい。また、新規事業にも取り組んでいく。</p>								
地域協議会からの意見への対応		<p>&lt;地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）&gt;</p> <p>&lt;意見への対応&gt;</p>					対応	未・済		
地域協議会からの意見への対応		<p>&lt;地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）&gt;</p> <p>&lt;意見への対応&gt;</p>					対応	未・済		

3. 実施報告

[ 3 ] 環境に係る事業

事業名	中央西花のまちづくり事業	実施年数	11年目												
事業期間	開始：平成24年度	終了：なし													
地域魅力発信プランとの関連	<p>動く美しく活力のあるまち</p> <p>花でいっぱいのまちづくり&lt;環境美化活動の推進&gt;</p> <p>(1) 交流センターを拠点とした花いっぱい運動</p>														
目的 (期待される効果)	<p>地域住民に呼びかけ、子どもから大人まで楽しめる講座を開催し、交流センターの玄関や庭を花で飾り、センターの利用者を和ませること。地域の施設等に花のプランターを配布し、花いっぱいのまちづくりを目指している。地域にお住まいの講師に教えていただき親しみが増し、地域の輪が広がることを目的としている。</p>														
事業内容・手段	<p>実施日 (前期) 令和4年6月25日(土) 10:00~11:00 13:00~14:00</p> <p>(後期) 令和4年11月26日(土) 10:00~11:00 13:00~14:00</p> <p>場所 宮崎西地区交流センターの学習室と庭(西側)</p> <p>内容 受付時に負担金500円を徴収 講師より説明後、外で地域配布プランターと交流センターのプランターの寄せ植えを行いその後、学習室で個人用プランターを完成させる。</p>														
事業費	284,450 円														
対象者	中央西地区住民														
参加者数 (内訳)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般参加者</td> <td>60人</td> <td>43人</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>41人</td> <td>18人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>101人</td> <td>61人</td> </tr> </tbody> </table> <p>令和4年度は4回実施：スタッフ数は延べ</p>			年度	令和4年度	令和3年度	一般参加者	60人	43人	スタッフ	41人	18人	合計	101人	61人
年度	令和4年度	令和3年度													
一般参加者	60人	43人													
スタッフ	41人	18人													
合計	101人	61人													
住民の声(アンケートの結果等)															

自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	地域ニーズの把握	A	A	毎年実施時にアンケートを行い、次回実行の参考にしている。また参加したいという声が多い。	広報	事業の周知	A	A	・チラシ自治会全戸配布 ・HP情報ひろばでの広報。
	住民の参加	A	A	人気の事業で、定員の4倍の申込みがあった。初めて申込される方を優先して抽選した。		課題解決への作用	A	A	交流センターを拠点とした花いっぱい運動が広がっている。
効果的・効率的な取組	地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	講座の際に、参加者に交流センター入口のプランターと、地域内の事業所に配付するプランターにも寄せ植えを行ってもらい、花のまちづくりに貢献している。	事業の効果	住民の満足度	A	A	花の質や参加料に大変満足していただいている。玄関先にある大鉢の寄せ植えは、交流センターの来館者を楽しませている。
	各種団体との連携	A	A	講師を地域の住民の方にいただいているので親近感がある。講座内での質問もしやすく参加者からも好評である。		事業継続の必要性		有・無	
良かった点・改善点等	<良かった点や改善した点等> 前年後期同様、定員を半分にし、前期2回、後期2回で開催した。それでも全てにおいて定員以上の申込みがあった。広く住民に認知されてきている事業であり、沢山の方が楽しみにされている講座なので住民の声を反映しながら引き続き開催していきたい。								
地域協議会からの意見への対応	<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）> <意見への対応>						対応	未・済	
地域協議会からの意見への対応	<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）> <意見への対応>						対応	未・済	

3. 実施報告

[ 6 ] 伝統文化に係る事業

事業名	ふるさとの歴史伝承事業	実施年数	8年目												
事業期間	開始：平成27年度	終了：なし													
地域魅力発信プランとの関連	<p>動く美しく活力のあるまち</p> <p>地域の伝統行事を大切にすまち&lt;伝統行事の継承&gt;</p> <p>(1) 地域の大切な伝統行事である大運動会や地域の祭りを次世代に継承</p>														
目的 (期待される効果)	<p>中央西地区の歴史や文化を後世に伝える活動に取り組む。盆踊りの復活や地域に伝わる民話(昔話)を小学生に語り継ぐことでふるさとの歴史を学ぶきっかけづくりを行う。地区の祭りや西池小運動会の全校ダンス、中央西地区大運動会で披露することで住民、学校との連携が図られてくる。</p>														
事業内容・手段	<p>毎年、地域振興部会を中心に、西池小学校で先生と児童に盆踊りを教え練習を重ね、運動会の全校ダンスとして披露しているが、今年も西池小学校の運動会がコロナ感染拡大防止のため規模縮小での開催となり、今年度の取り組みは中止となった。</p> <p>また、地域の祭り等も中止、中央西地区大運動会は開催されたが、規模縮小であった為、盆踊りの披露・住民参加の機会がなかった。また、前年に引き続き、盆踊りの音源作成も計画していたが、歌い手さんの都合により今年度も実施できなかった。</p>														
事業費	2,073 円														
対象者	中央西地区住民														
参加者数 (内訳)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般参加者</td> <td>0 人</td> <td>0 人</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>0 人</td> <td>0 人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>0 人</td> <td>0 人</td> </tr> </tbody> </table>			年度	令和4年度	令和3年度	一般参加者	0 人	0 人	スタッフ	0 人	0 人	合計	0 人	0 人
年度	令和4年度	令和3年度													
一般参加者	0 人	0 人													
スタッフ	0 人	0 人													
合計	0 人	0 人													
住民の声(アンケートの結果等)															

自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項	
		本年度	前年度				本年度	前年度		
住民主体のまちづくり	地域ニーズの把握	A	A	地区の祭りや運動会で踊りを披露する事で、地域住民への伝承につながる。毎年続けていく事で住民の認知も得られる。	広報	事業の周知	-	-		
	住民の参加		-			事業の効果	課題解決への作用	-	-	
効果的・効率的な取組	地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性		-				住民の満足度	-	-	
	各種団体との連携		-		事業継続の必要性		有・無			
良かった点・改善点等		<p>&lt;良かった点や改善した点等&gt;</p> <p>盆踊りを伝承、披露する場であった行事等が全て中止であったため、次年度は盆踊りに限らず、それ以外の伝承方法を検討し、どのような状況でもふるさとの歴史を次世代に継承していきたい。</p>								
地域協議会からの意見への対応		<p>&lt;地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）&gt;</p> <p>&lt;意見への対応&gt;</p>					対応	未・済		
地域協議会からの意見への対応		<p>&lt;地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）&gt;</p> <p>&lt;意見への対応&gt;</p>					対応	未・済		



### 3. 実施報告

#### [ 7 ] 地域教育に係る事業

事業名	子どもとおとなの交流会事業	実施年数	13年目												
事業期間	開始：平成22年度	終了：なし													
地域魅力発信プランとの関連	<p>地域に関心を持つ</p> <p>若者が地域活動に参加するまちづくり&lt;学校との連携&gt;</p> <p>(2) 学校との連携をはかり、学生の地域活動への参加を促進</p> <p>子どもの笑顔があふれるまち</p> <p>未来を担う人を育てるまちづくり&lt;次世代の人材育成&gt;</p> <p>(1) 子どもたちに地域活動の大切さを体験してもらい将来の人材育成</p>														
目的 (期待される効果)	<p>地域内の南九州大学と連携し、先生や学生方の協力のもと地産地消の意義を学び、地域社会や様々な年齢の人と交流を深めることで、次世代の人材育成、学生の地域活動への参加を促進する。</p>														
事業内容・手段	<p>日時：令和4年8月20日(土)</p> <p>場所：南九州大学 宮崎キャンパス</p> <p>内容：食や栄養を学ぶ子どもとおとなの交流会</p> <p>Aコーナー 最新式の食育教材SATシステムを体験しよう！ ～からだに良いものを選んで賢く食べるために～</p> <p>Bコーナー 日頃の食べ物を実験しながら見てみよう！ ～キッチンの実験室だ！ 食べ物の色や形が変化する～</p>														
事業費	152,360 円														
対象者	中央西地区住民														
参加者数 (内訳)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般参加者</td> <td>11人</td> <td>0人</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>15人</td> <td>4人</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>26人</td> <td>4人</td> </tr> </tbody> </table>			年 度	令和4年度	令和3年度	一般参加者	11人	0人	スタッフ	15人	4人	合 計	26人	4人
年 度	令和4年度	令和3年度													
一般参加者	11人	0人													
スタッフ	15人	4人													
合 計	26人	4人													
住民の声(アンケートの結果等)															

自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	地域ニーズの把握	A	A	地域社会との関わりを持つことが、子どもや大学側にとって意義を持つことだと思われる。	広報	事業の周知	B	A	開催のチラシ ・自治会全戸配布。 ・小中学校の児童生徒を通じて配布。 HP情報ひろばで広報。
	住民の参加	A	A	附属小にもチラシを配布した事で、地域外の参加申込みも多かった。			事業の効果	課題解決への作用	A
効果的・効率的な取組	地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	地域の大学と連携して事業を行うことで、学生にもまちづくりの取り組みを知ってもらえる機会ができた。	事業の効果	住民の満足度			A
	各種団体との連携	C	B	学校や自治会なども利用しての募集も検討したほうがよいです。			事業継続の必要性		○有 ・ 無
良かった点・改善点等		<p>&lt;良かった点や改善した点等&gt;                      近年なかなか開催できませんでしたが、大学側の実施したいという熱意もあり、規模や内容を縮小しながらも実施できました。参加者もできる簡単な実験と先生の講義の2本立てでしたが、どちらも興味を引く楽しいものだったと思います。例年と違った内容のためか参加者も少なかったので告知方法などの工夫が必要かと思われます。講義の時、先生が昨日食べたものの成分を計算するのを募っていましたが、もう少しスタッフが盛り上げていけばよかったです。</p>							
地域協議会からの意見への対応		<p>&lt;地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）&gt;                      &lt;意見への対応&gt;</p>					対応	未・済	
地域協議会からの意見への対応		<p>&lt;地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）&gt;                      &lt;意見への対応&gt;</p>					対応	未・済	





3. 実施報告

[ 7 ] 地域教育に係る事業

事業名	体験学習事業	実施年数	10年目												
事業期間	開始：平成25年度	終了：なし													
地域魅力発信プランとの関連	<p>子どもの笑顔があふれるまち          未来を担う人を育てるまちづくり&lt;次世代の人材育成&gt;          (1) 子どもたちに地域活動の大切さを体験してもらい、          将来の人材育成</p>														
目的 (期待される効果)	<p>地域の子どもと大人を対象に、自然を愛する心を育み、自然と「共生する」ための体験学習を実施し、次世代の人材育成を推進する。</p>														
事業内容・手段	<p>実施日：令和4年7月31日(日)          場所：祇園運動広場          内容：ウォーターサバイバル          竹で水鉄砲を作り、作った水鉄砲でサバイバル遊びをした。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・水鉄砲サバイバルコーナー・水鉄砲距離飛ばしコーナー</li> <li>・水ふうせんコーナー・シャボン玉コーナー・色水コーナー</li> <li>・グラウンドゴルフコーナー(中央西地区老人クラブ連合会)</li> </ul>														
事業費	103,481 円														
対象者	中央西地区住民														
参加者数 (内訳)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般参加者</td> <td>137 人</td> <td>125 人</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>63 人</td> <td>52 人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>200 人</td> <td>177 人</td> </tr> </tbody> </table>			年度	令和4年度	令和3年度	一般参加者	137 人	125 人	スタッフ	63 人	52 人	合計	200 人	177 人
年度	令和4年度	令和3年度													
一般参加者	137 人	125 人													
スタッフ	63 人	52 人													
合計	200 人	177 人													
住民の声(アンケートの結果等)															

自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	地域ニーズの把握	A	B	昨年度実施して楽しんでもらったので同様の内容での実施でした	広報	事業の周知	A	A	小学校を通じたチラシ配付、自治会回覧板、情報ひろばでの周知を行った。
	住民の参加	A	A	参加者は100人程度を見込んでいたが、予想を大きく超える参加人数となった。			事業の効果	課題解決への作用	A
効果的・効率的な取組	地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	子どもと親が一緒に作業をしてみたらさんさんクラブ中央西連合会とも連携し、地域に根差した活動になった。	事業の必要性	住民の満足度			A
	各種団体との連携	A	B	さんさんクラブ中央西連合会に協力を依頼し、グラウンドゴルフコーナーを担当いただいた。また、西池男組、大学生、高校生のボランティアにも参加していただきました			事業継続の必要性		(有) ・ 無
良かった点・改善点等		<p>&lt;良かった点や改善した点等&gt;</p> <p>昨年と同じ内容での実施でした。準備や運営については、昨年の反省が活かされ、スムーズに行えました。グラウンド・ゴルフへの誘導などもうまくできたと思います。子どもや保護者の方も楽しんで水鉄砲を作り、作った水鉄砲で遊んでいたようです。水風船も人気があり、楽しめていたようです。この行事も、PTAや老人会があつての実施なので、今後も連携が取れやすいようにしていきたいです。</p>							
地域協議会からの意見への対応		<p>&lt;地域協議会からの意見（平成 年 月・ ）&gt;</p> <p>&lt;意見への対応&gt;</p>					対応		未・済
地域協議会からの意見への対応		<p>&lt;地域協議会からの意見（平成 年 月・ ）&gt;</p> <p>&lt;意見への対応&gt;</p>					対応		未・済







3. 実施報告

[ 7 ] 地域教育に係る事業

事業名	子育てサポート事業	実施年数	8年目												
事業期間	開始：平成27年度	終了：なし													
地域魅力発信プランとの関連	<p>子どもの笑顔があふれるまち 安心して子育てのできるまちづくり ＜子育て世代の地域活動への参加促進＞ （1）子育て世代がイベントに参加しやすい環境づくり （2）子育て世代のサポート</p>														
目的 (期待される効果)	<p>地域の要望に応じ、地域で子育てしやすい環境づくり、子育て世代の支援の充実を図ることで、子育て世代の地域活動への参加を促進する。</p>														
事業内容・手段	<ul style="list-style-type: none"> <li>・西池小参観日の児童見守り活動 今年度は見守り活動がなかった。</li> <li>・附属小学校からの要請で、附属小わんぱくフェスタにて計算ランプを実施した。日時：11/19(土), 10:00~12:00</li> <li>・子どもの見守りやボランティア活動に活用する「KOTONカード」を作成し児童・生徒に配付。「KOTONカード」の利用拡充として、西池小児童クラブおよび霧島児童館での入退館システムの導入検討を各団体と協議を進めている。</li> <li>・中央地区青少年育成協議会が主催する「歩こう会」のサポート事業は、悪天候のため中止となった。</li> </ul>														
事業費	58,289	円													
対象者	中央西地区住民														
参加者数 (内訳)	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">年 度</th> <th style="width: 40%;">令和4年度</th> <th style="width: 40%;">令和3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>利用者 (児童)</td> <td>40 人</td> <td>0 人</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>延べ 8 人</td> <td>延べ 30 人</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>48 人</td> <td>30 人</td> </tr> </tbody> </table>			年 度	令和4年度	令和3年度	利用者 (児童)	40 人	0 人	スタッフ	延べ 8 人	延べ 30 人	合 計	48 人	30 人
年 度	令和4年度	令和3年度													
利用者 (児童)	40 人	0 人													
スタッフ	延べ 8 人	延べ 30 人													
合 計	48 人	30 人													
住民の声(アンケートの結果等)	<p>毎年、親子で楽しみにしている歩こう会だったが、昨年度に引き続きの中止はとても残念だとの声が多くあった。</p>														

自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	地域ニーズの把握	A	B	附属小学校PTAから要請をうけ、わんぱくフェスタに参加し計算トランプを実施した。	広報	事業の周知	A	A	歩こう会中止を、HPや公式LINEにて周知した。
	住民の参加	A	A	部会員や、地域の一般住民がボランティア活動として参観日の見守り活動に参加されている。		事業の効果	課題解決への作用	B	B
効果的・効率的な取組	地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	B	B	地域で子育てしやすいまちづくりを目指し、環境を整える事業である。			住民の満足度	A	A
	各種団体との連携	A	A	まちの応援隊の方々に見守り活動協力の声掛けをして事業を行っている。	事業継続の必要性		有・無		
良かった点・改善点等	<p>&lt;良かった点や改善した点等&gt;</p> <p>参観日の見守りは、近年実施できてませんが、保護者の方が安心して懇談会などに参加できる取り組みは継続していきたいです。久しぶりの附属小わんぱくフェスタへの参加でしたが、計算トランプへの人気も高く、今後も機会があれば参加していきたい取り組みです。KOTONカードも今年は使用できる行事も増え、それなりに周知されてきましたが、利用方法の周知をさらに広め、また附属小学校などへ広げるかなどの検討も進めていきます。</p> <p>実施はされなかったが、歩こう会では青少年育成協議会との分担についての話し合いや次年度以降についても話できたことは良かった。予算や事業計画から、早い段階から話し合いに参加させて欲しい。</p>								
地域協議会からの意見への対応	<p>&lt;地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）&gt;</p> <p>&lt;意見への対応&gt;</p>						対応	未・済	
地域協議会からの意見への対応	<p>&lt;地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）&gt;</p> <p>&lt;意見への対応&gt;</p>						対応	未・済	

### 3. 実施報告

#### [ 7 ] 地域教育に係る事業

事業名	子育てサポート事業 (歩こう会)	実施年数	3年目												
事業期間	開始：令和2年度	終了：なし													
地域魅力発信 プランとの関連	子どもの笑顔があふれるまち 安心して子育てのできるまちづくり <子育て世代の地域活動への参加促進> (1) 子育て世代がイベントに参加しやすい環境づくり (2) 子育て世代のサポート														
目的 (期待される効果)	地域の要望に応じ、地域で子育てしやすい環境づくり、子育て世代の支援の充実を図ることで、子育て世代の地域活動への参加を促進する。														
事業内容・手段	地域の子供達達の非行防止や健全育成を目的として活動する地域団体(中央地区青少年育成協議会)が主催する「歩こう会」のサポート事業を行う。  コロナ感染拡大防止のため中止。														
事業費	0円														
対象者	中央西地区住民														
参加者数 (内訳)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>利用者 (児童)</td> <td>0人</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>延べ0人</td> <td>延べ人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>0人</td> <td>人</td> </tr> </tbody> </table>			年度	令和4年度	令和3年度	利用者 (児童)	0人	人	スタッフ	延べ0人	延べ人	合計	0人	人
年度	令和4年度	令和3年度													
利用者 (児童)	0人	人													
スタッフ	延べ0人	延べ人													
合計	0人	人													
住民の声(アンケートの結果等)	毎年、親子で楽しみにしている歩こう会だったが、昨年度に引き続きの中止はとても残念だとの声が多くあった。														

自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	地域ニーズの把握	B	B	地域の小・中学校からの参加者が多数である「歩こう会」をまちづくりが共催する。	広報	事業の周知	A	A	事業の中止を、HPや公式LINEにて周知した。
	住民の参加					事業の効果	課題解決への作用		
効果的・効率的な取組	地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	地域で子育てしやすいまちづくりを目指し、環境を整える事業である	事業の効果	住民の満足度			
	各種団体との連携	B	B	中央地区青少協と共催し、事業のサポートを行う。事前の打ち合わせを行うことができた		事業継続の必要性		有・無	
良かった点・改善点等	実施はされませんでした。青少年育成協議会との分担についての話し合いや次年度以降についても、話せたことはよかったと思います。ただ、ただ、予算や事業計画もありますので、早い段階から話し合いなどに参加させてもらったほうがよいと思われます。								
地域協議会からの意見への対応	<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）>  <意見への対応>						対応	未・済	
地域協議会からの意見への対応	<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）>  <意見への対応>						対応	未・済	

### 3. 実施報告

#### [ 7 ] 地域教育に係る事業

事業名	子どもふれあい広場事業	実施年数	7年目												
事業期間	開始：平成28年度	終了：なし													
地域魅力発信プランとの関連	<p>子どもの笑顔があふれるまち          未来を担う人を育てる、まちづくり&lt;次世代の人材育成&gt;          (1)子どもたちに地域活動の大切さを体験してもらい、          将来の人材育成</p> <p>安心して子育てのできるまちづくり          &lt;子育て世代の地域活動への参加促進&gt;          (1)子育て世代がイベントに参加しやすいような環境づくり</p>														
目的 (期待される効果)	<p>地域の子どもたちを対象に、遊びの場や材料を提供し、子どもの遊びに対する興味や好奇心を最大限に引き出し、楽しい思い出をすることで、子どもたちが将来も住みたいと思うまちづくりを推進する。</p>														
事業内容・手段	<p>実施日 令和4年12月4日(日)          場所 祇園運動広場          内容 健康ふくしまつりと併催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ミニSLコーナー(まちづくりが担当)</li> <li>・昔のあそびコーナー(中央西地区老人クラブ連合会が担当)</li> <li>・実験コーナー(南九州大学食品開発科学科が担当)</li> </ul>														
事業費	173,477 円														
対象者	中央西地区住民														
参加者数 (内訳)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般参加者</td> <td>75 人</td> <td>122 人</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>72 人</td> <td>74 人</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>147 人</td> <td>196 人</td> </tr> </tbody> </table>			年 度	令和4年度	令和3年度	一般参加者	75 人	122 人	スタッフ	72 人	74 人	合 計	147 人	196 人
年 度	令和4年度	令和3年度													
一般参加者	75 人	122 人													
スタッフ	72 人	74 人													
合 計	147 人	196 人													
住民の声(アンケートの結果等)															

自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項	
		本年度	前年度				本年度	前年度		
住民主体のまちづくり	地域ニーズの把握	A	A	地域住民および三世交代の機会として重要である。	広報	事業の周知	A	A	小学校へのチラシ配布。 HPみんなの情報ひるば・LINEでの広報。	
	住民の参加	A	A	大学生、老人クラブ、西池小の男組の協力が得られた。また、多数の地域の子もたち家族連れの参加が多かった。		事業の効果	課題解決への作用	A	A	未就学児、子育て世代の親子連れの参加が多かった。また、今回初めての参加者も多く、幅広い地域からの参加があった。
	効果的・効率的な取組	A	A	地域住民の方々に参加協力してもらえる体制ができた。			住民の満足度	A	A	参加した子ども達や保護者、地域住民、また協力団体からの高い評価を得ている。
各種団体との連携	A	A	南九州大学の学生、老人クラブ、西池小の男組との連携が図れた。	事業継続の必要性		有 ・ 無				
良かった点・改善点等		<p>&lt;良かった点や改善した点等&gt;</p> <p>天気が心配の中で、朝雨が降っての準備でした。昨年同様の内容でしたが、ミニSLも人気で、テゲバジャーロ宮崎の選手が参加して、いっしょに昔遊びをしたりサッカーボールで遊んだり効果は大きかったと思います。地域・学校、そして子どもから高齢者まで一体となった密度の濃いイベントでした。南九州大学の学生の実験を交流センターで行った事で、場所が離れてしまった。</p>								
地域協議会からの意見への対応		<p>&lt;地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）&gt;</p> <p>&lt;意見への対応&gt;</p>					対応	未・済		
地域協議会からの意見への対応		<p>&lt;地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）&gt;</p> <p>&lt;意見への対応&gt;</p>					対応	未・済		

3. 実施報告

[ 8 ] その他の事業

事業名	事務局運営事業	実施年数	11年目												
事業期間	開始：平成24年度	終了：なし													
地域魅力発信プランとの関連	「文化あふれ、生きいき元気なまち 中央西」組織間の連携をはかり活気あふれ、住民がずっと住み続けたいと思う魅力ある地域を目指す。														
目的 (期待される効果)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・推進委員がまちづくり活動に安心して参加できるように、活動保険に加入する。</li> <li>・円滑な事務運営をするために事務用品を購入する。</li> </ul>														
事業内容・手段	<ul style="list-style-type: none"> <li>・4月5日、5月31日 委員68名のボランティア活動保険加入</li> <li>・通年 事務用品の購入</li> <li>・3月10日 役員に対して費用弁償の支給</li> <li>・大きなイベント時の事務局応援として、臨時職員を雇用し円滑なイベント準備を行った。</li> </ul>														
事業費	1,002,426 円														
対象者	まちづくり推進委員会委員、事務局														
参加者数 (内訳)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般参加者</td> <td>- 人</td> <td>- 人</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>- 人</td> <td>- 人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>- 人</td> <td>- 人</td> </tr> </tbody> </table>			年度	令和4年度	令和3年度	一般参加者	- 人	- 人	スタッフ	- 人	- 人	合計	- 人	- 人
年度	令和4年度	令和3年度													
一般参加者	- 人	- 人													
スタッフ	- 人	- 人													
合計	- 人	- 人													
住民の声(アンケートの結果等)															

自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項	
		本年度	前年度				本年度	前年度		
住民主体のまちづくり	地域ニーズの把握	-	-		広報	事業の周知	-	-		
	住民の参加	-	-			事業の効果	課題解決への作用	-	-	
効果的・効率的な取組	地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	-	-				住民の満足度	-	-	
	各種団体との連携	-	-		事業継続の必要性		有・無			
良かった点・改善点等		<良かった点や改善した点等>								
地域協議会からの意見への対応		<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）> <意見への対応>					対応	未・済		
地域協議会からの意見への対応		<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）> <意見への対応>					対応	未・済		



3. 実施報告

[ 8 ] その他の事業

事業名	まちづくり広報事業	実施年数	9年目												
事業期間	開始：平成26年度	終了：なし													
地域魅力発信プランとの関連	<p>地域に関心を持つ 住民が地域活動に関心を持っているまち&lt;活動内容の周知&gt; (2) 地域内の活動に関する情報を共有</p>														
目的 (期待される効果)	<p>地域住民がまちづくり推進委員会の活動や意義を理解し、興味関心を持つようにする。</p> <p>かわら版では「イベント情報」「活動報告」「中央西まちづくり人」「よもやま話」を提供し、旬の情報や地域の魅力を伝える。</p> <p>まちづくり掲示板を通して、まちづくり事業や自治会活動の情報を提供することで積極的な参加を促す。</p>														
事業内容・手段	<p>・地域住民にまちづくり事業の各部の活動状況やイベントの様子をタイムリーな「中央西まちづくりかわら版」として発行した。 また、広報・魅力アップ分科会、情報の共有化と効率化を図った。</p> <p>かわら版 7月、10月、12月 3回発行 まちづくり新聞 3月発行 (自治会全戸配布、学校配付)</p> <p>・和知川原1区の古くなった掲示板を更新した。</p>														
事業費	357,750 円														
対象者	中央西地区住民														
参加者数 (内訳)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般参加者</td> <td>延べ - 人</td> <td>延べ - 人</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>延べ 64 人</td> <td>延べ 29 人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>64 人</td> <td>29 人</td> </tr> </tbody> </table>			年度	令和4年度	令和3年度	一般参加者	延べ - 人	延べ - 人	スタッフ	延べ 64 人	延べ 29 人	合計	64 人	29 人
年度	令和4年度	令和3年度													
一般参加者	延べ - 人	延べ - 人													
スタッフ	延べ 64 人	延べ 29 人													
合計	64 人	29 人													
住民の声(アンケートの結果等)															

自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項	
		本年度	前年度				本年度	前年度		
住民主体のまちづくり	地域ニーズの把握	A	A	まちづくり事業の案内や紹介を、電子版だけでなく、紙面で届けることにより、特に高齢者に喜ばれている。	広報	事業の周知	A	A	かわら版をHP情報ひろばに掲載して多角的に周知を図った。かわら版の定期的な継続発行が地域への周知となる。	
	住民の参加	B	B	かわら版で「中央西まちづくり人」を紹介するが、紹介後も繋がりができている。		事業の効果	課題解決への作用	A	A	広報・魅力アップ分科会のメンバーに自治会連合会や公募の方々に入ってもらうことで、情報網の充実を図った。
効果的・効率的な取組	地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	地域内の活動を伝えられるメディアとして非常に重要である。			住民の満足度	A	A	かわら版は、今までにない切り口の記事が多く面白いと好評である。
	各種団体との連携	A	A	（自治会連合会から）広報委員として参加された方から、新聞の記事の情報をいただける。	事業継続の必要性		有 ・ 無			
良かった点・改善点等	<良かった点や改善した点等> 広報事業と魅力アップ事業を統合運営することで、事業の効率化を図った。									
地域協議会からの意見への対応	<地域協議会からの意見（令和年月・）> <意見への対応>						対応	未 ・ 済		
地域協議会からの意見への対応	<地域協議会からの意見（令和 年 月・）> <意見への対応>						対応	未 ・ 済		

3. 実施報告

[ 8 ] その他の事業

事業名	地域の魅力アップ事業	実施年数	9年目												
事業期間	開始：平成26年度	終了：なし													
地域魅力発信プランとの関連	<p>地域に関心を持つ 人材の発掘・活用をはかるまち&lt;人財バンクの創設&gt; (1)ボランティアに興味のある方を登録し活用</p>														
目的 (期待される効果)	<p>まちづくりのイベント時にボランティアとして活動していただく人を募集し、地域の活性化を図るために活用し、住民がいつまでも中央西に住み続けたいと思う魅力あるまちづくりを行う。</p>														
事業内容・手段	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「広報・魅力アップ分科会」へ各自治会より1名以上選出していただき、まちづくりの部会員として所属し活動に協力をいただく。</li> <li>・人材の発掘・活用をはかるため、まちづくり事業の「ボランティア募集」をホームページみんなの情報ひろばとLINEで周知して、若い世代にもまちづくりの活動を知ってもらえるようにする。また、部会員や青色パトロールのボランティアスタッフをチラシを作成、配布して募集をかける。</li> <li>・地域の防災士の方に、少しでも活動の場が提供できるように、「防災事業」への参加協力依頼を個別にご案内する。防災フェスタでは、スタッフとして参加していただけるよう配置する。</li> </ul>														
事業費	16,380 円														
対象者	中央西地区住民														
参加者数 (内訳)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和2年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般参加者</td> <td>延べ 人</td> <td>延べ 10 人</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>延べ 64 人</td> <td>延べ 7 人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>64 人</td> <td>17 人</td> </tr> </tbody> </table> <p>広報事業と統合運営した。</p>			年度	令和4年度	令和2年度	一般参加者	延べ 人	延べ 10 人	スタッフ	延べ 64 人	延べ 7 人	合計	64 人	17 人
年度	令和4年度	令和2年度													
一般参加者	延べ 人	延べ 10 人													
スタッフ	延べ 64 人	延べ 7 人													
合計	64 人	17 人													
住民の声(アンケートの結果等)															

自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項	
		本年度	前年度				本年度	前年度		
住民主体のまちづくり	地域ニーズの把握	B	B	地域ボランティアの内容を具体的に示して、個別に案内することにより参加しやすくした。	広報	事業の周知	A	A	みんなの情報ひるばLINEを活用し、ボランティアの募集をする事で、若い世代への周知につながった。	
	住民の参加	A	A	具体的にボランティアの内容を示すことで住民に興味を持って参加してもらえた。		事業の効果	課題解決への作用	B	B	各事業内容を理解してもらうことで、まちづくり全体事業や理念を理解してもらえる。
効果的・効率的な取組	地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	まちづくり各事業においては、人材確保は必須であり、継続的なアピールが必要。			住民の満足度	B	B	各自治会から「分科会」に参加してもらうことにより、まちづくりの活動を身近に感じてもらった。
	各種団体との連携	A	A	各自治会より「広報・魅力アップ分科会」に選出いただき部会員の一人として活動いただいた。	事業継続の必要性		有 ・ 無			
良かった点・改善点等		<p>&lt;良かった点や改善した点等&gt;</p> <p>広報事業と魅力アップ事業を統合運営することで、事業の効率化を図った。 次年度以降は、広報事業の一部として運営していく。</p>								
地域協議会からの意見への対応		<p>&lt;地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）&gt;</p> <p>&lt;意見への対応&gt;</p>					対応	未 ・ 済		
地域協議会からの意見への対応		<p>&lt;地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）&gt;</p> <p>&lt;意見への対応&gt;</p>					対応	未 ・ 済		

3. 実施報告

[ 8 ] その他の事業

事業名	中央西みんなの情報ひろば事業	実施年数	7年目												
事業期間	開始：平成28年度	終了：なし													
地域魅力発信プランとの関連	<p>地域に関心をもとう</p> <p>住民が地域活動に関心をもっているまち          &lt; 活動内容の周知 &gt;</p>														
目的 (期待される効果)	<p>地域情報やまちづくりの情報を「中央西みんなの情報ひろば」のホームページにアップし、地域住民が地域に関心を持つようにする。ICTを活用し、気軽に情報を得られるよう広報活動に繋げていく。</p>														
事業内容・手段	<p>「中央西みんなの情報ひろば」のホームページを利用して、まちづくり事業のイベントの開催や活動内容、新聞等を配信した。また、公式LINEを利用して、緊急性のあるイベント等のお知らせを配信した。</p>														
事業費	428,620 円														
対象者	中央西地区住民														
参加者数 (内訳)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般参加者</td> <td>- 人</td> <td>- 人</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>- 人</td> <td>- 人</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>0 人</td> <td>0 人</td> </tr> </tbody> </table>			年 度	令和4年度	令和3年度	一般参加者	- 人	- 人	スタッフ	- 人	- 人	合 計	0 人	0 人
年 度	令和4年度	令和3年度													
一般参加者	- 人	- 人													
スタッフ	- 人	- 人													
合 計	0 人	0 人													
住民の声(アンケートの結果等)															

自己評価(評価：A 良い B 普通 C 要改善)

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項	
		本年度	前年度				本年度	前年度		
住民主体のまちづくり	地域ニーズの把握	A	A	地域活動の情報を共有することで、各団体が活動予定など立案しやすい	広報	事業の周知	A	A	各事業の参加募集チラシに情報ひろばのQRコードを掲載している。	
	住民の参加	A	A	スマホでQRコードを読むことで容易にアクセスできる。			事業の効果	課題解決への作用	A	A
効果的・効率的な取組	地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	まちづくり事業を広く広報する事は重要である。	事業の効果	住民の満足度			A	A
	各種団体との連携	A	A	「みんなの情報ひろば」は、元は自治会連合会の事業であり連携して広報活動が行える。			事業継続の必要性		有 ・ 無	
良かった点・改善点等		<良かった点や改善した点等>								
地域協議会からの意見への対応		<地域協議会からの意見(令和 年 月・ )> <意見への対応>					対応		未 ・ 済	
地域協議会からの意見への対応		<地域協議会からの意見(令和 年 月・ )> <意見への対応>					対応		未 ・ 済	

3. 実施報告

[ 8 ] その他の事業

事業名	災害対応資機材等購入事業	実施年数	4年目												
事業期間	開始：平成31年度	終了：なし													
地域魅力発信プランとの関連	近所づきあいで、ゆとりのあるまち 災害につよいまちづくり < 災害時の要援護者支援の充実 > (1) 災害に対する啓発を行い、防災意識の向上														
目的 (期待される効果)	災害時に必要とする資機材等を購入し、災害に強いまちづくりを目指す。														
事業内容・手段	自治会長、自治会連合会、自主防災組織委員とまちづくり委員会で組織する「中央西災害対応資機材等管理運営委員会」で協議を行い、購入品を決定した。  購入品目 ソーラー充電器×2台														
事業費	31,560 円														
対象者	中央西地区住民														
参加者数 (内訳)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般参加者</td> <td>人</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>人</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>0 人</td> <td>0 人</td> </tr> </tbody> </table>			年 度	令和4年度	令和3年度	一般参加者	人	人	スタッフ	人	人	合 計	0 人	0 人
年 度	令和4年度	令和3年度													
一般参加者	人	人													
スタッフ	人	人													
合 計	0 人	0 人													
住民の声(アンケートの結果等)															

自己評価(評価:A 良い B 普通 C 要改善)

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項	
		本年度	前年度				本年度	前年度		
住民主体のまちづくり	地域ニーズの把握	B	B	災害に強いまちづくりは地域の喫緊の課題である。	広報	事業の周知	A	A	購入した資機材を「中央西まちづくり新聞」に掲載し地域住民全戸に配付し周知した。	
	住民の参加	A	A	購入した資機材等を災害啓発に活用し、広く住民に知らしめていきたい。		事業の効果	課題解決への作用	B	B	所有する防災資機材一覧を自治会、地域防災士などに公開することで防災意識の向上に繋がった。
効果的・効率的な取組	地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	災害に備えることは、まちづくりの重要な取り組みである。	事業の必要性		住民の満足度	B	B	平時においても中央西地区の各種団体に資機材の無料貸出しをしており好評である。
	各種団体との連携	A	A	「資機材管理運営委員会」で購入品の検討を行い、自治会連合会をはじめとする各種団体との連携が図れた。		事業継続の必要性	有・無			
良かった点・改善点等		<良かった点や改善した点等>								
地域協議会からの意見への対応		<地域協議会からの意見( )> <意見への対応>					対応		未・済	
地域協議会からの意見への対応		<地域協議会からの意見(令和 年 月・ )> <意見への対応>					対応		未・済	



## 事業別収支計算書

中央西地域自治区

中央西まちづくり推進委員会

事業名	中央西地区防犯事業
-----	-----------

## (1) 収入の部

(単位：円)

番号	項目	金額	備考
1	基礎交付金	0	
2	補助金	0	
3	負担金	0	
4	繰越金	77,791	
5	その他	0	
6	合計(A)	77,791	

## (2) 支出の部

番号	項目	金額	備考
1	賃金	0	
2	報償費	0	
3	旅費	0	
4	需用費	73,041	消耗品 44,000 新入生防犯グッズ 14,300 レインウェア 1,628 用紙代 印刷製本 11,040 防犯講座チラシ 食糧 2,073 お茶(防犯講座)
5	役務費	4,750	手数料 110 振込手数料 440 代引き手数料 通信運搬費 4,200 切手@84×50枚
6	委託料	0	
7	使用料及び賃貸料	0	
8	工事請負費	0	
9	原材料費	0	
10	備品購入費	0	
11	積立金	0	
12	合計(B)	77,791	

収支差額(A) - (B)	0
---------------	---

事業別収支計算書  
 中央西地域自治区  
 中央西まちづくり推進委員会

事業名	中央西地区防災事業
-----	-----------

( 1 ) 収入の部

( 単位 : 円 )

番号	項目	金額	備考
1	基礎交付金	0	
2	補助金	0	
3	負担金	0	
4	繰越金	175,938	
5	その他	0	
6	合計 ( A )	175,938	

( 2 ) 支出の部

番号	項目	金額	備考
1	賃金	0	
2	報償費	0	
3	旅費	0	
4	需用費	139,498	印刷製本費 16,080 ちらし、拡大コピー 消耗品費 44,218 準備品 79,200 参加賞品
5	役務費	36,340	その他 32,620 参加者傷害保険料 ( ボランティアの 手数料 1,320 保険、ちらし印刷振込手数料 2,400 道路使用申請手数料 ( 北警察署 )
6	委託料	0	
7	使用料及び賃貸料	100	100 防災ネットワーク訪問時駐車料金
8	工事請負費	0	
9	原材料費	0	
10	備品購入費	0	
11	積立金	0	
12	合計 ( B )	175,938	

収支差額 ( A ) - ( B )	0
--------------------	---

事業別収支計算書  
 中央西地域自治区  
 中央西まちづくり推進委員会

事業名	中央西地区青色パトロール隊事業
-----	-----------------

(1) 収入の部

(単位:円)

番号	項目	金額	備考
1	基礎交付金	0	
2	補助金	0	
3	負担金	0	
4	繰越金	436,049	
5	その他	0	
6	合計(A)	436,049	

(2) 支出の部

番号	項目	金額	備考
1	賃金	0	
2	報償費	0	
3	旅費	0	
4	需用費	79,999	印刷製本費 15,940 隊員募集チラシ 消耗品費 398 事務用品など 食糧費 20,139 お茶 燃料費 43,522 ガソリン
5	役務費	98,650	通信運搬費 8,400 切手 その他 78,620 任意保険料(12か月) 10,200 青バト隊員傷害保険料 手数料 1,430 振込手数料
6	委託料	0	
7	使用料及び賃貸料	257,400	257,400 車リース@21,450×12か月
8	工事請負費	0	
9	原材料費	0	
10	備品購入費	0	
11	積立金	0	
12	合計(B)	436,049	

収支差額(A) - (B)	0
---------------	---

**事業別収支計算書**  
 中央西地域自治区  
 中央西まちづくり推進委員会

<b>事業名</b>	<b>健康ふくしまつり事業</b>
------------	-------------------

( 1 ) 収入の部

( 単位 : 円 )

番号	項目	金額	備考
1	基礎交付金	0	
2	補助金	0	
3	負担金	0	
4	繰越金	342,961	
5	その他	0	
6	合計 ( A )	342,961	

( 2 ) 支出の部

番号	項目	金額	備考
1	賃金	0	
2	報償費	6,000	6,000 協力団体謝礼金
3	旅費	0	
4	需用費	222,991	印刷製本費 56,430 チラシ 消耗品費 21,613 紙袋、ビニール袋、文具、ボランティアお礼等 120,000 抽選会景品代 食糧費 24,948 スタッフ賄い、お茶
5	役務費	16,510	その他 14,000 まつり参加者傷害保険料 手数料 110 参加者傷害保険振込手数料 2,400 道路使用
6	委託料	0	
7	使用料及び賃貸料	97,460	97,460 テント、机等の以外
8	工事請負費	0	
9	原材料費	0	
10	備品購入費	0	
11	積立金	0	
12	合計 ( B )	342,961	

収支差額 ( A ) - ( B )	0
--------------------	---

## 事業別収支計算書

中央西地域自治区  
中央西まちづくり推進委員会

事業名	高齢者と子どもの居場所づくり事業
-----	------------------

## (1) 収入の部

(単位：円)

番号	項目	金額	備考
1	基礎交付金	86,258	
2	補助金	0	
3	負担金	0	
4	繰越金	0	
5	その他	0	
6	合計(A)	86,258	

## (2) 支出の部

番号	項目	金額	備考
1	賃金	0	
2	報償費	66,000	66,000 講師謝礼(びよスケ)
3	旅費	0	
4	需用費	1,678	消耗品費 1,280 サロン用準備品ほか 食糧費 398 お茶・水
5	役務費	3,580	その他 3,360 サロン参加者傷害保険料 手数料 220 参加者傷害保険振込手数料
6	委託料	0	
7	使用料及び賃貸料	15,000	15,000 施設使用料(おおきな木)
8	工事請負費	0	
9	原材料費	0	
10	備品購入費	0	
11	積立金	0	
12	合計(B)	86,258	

収支差額(A) - (B)	0
---------------	---

## 事業別収支計算書

中央西地域自治区

中央西まちづくり推進委員会

事業名	講習会事業
-----	-------

## (1) 収入の部

(単位：円)

番号	項目	金額	備考
1	基礎交付金	15,626	
2	補助金	0	
3	負担金	0	
4	繰越金	0	
5	その他	0	
6	合計(A)	15,626	

## (2) 支出の部

番号	項目	金額	備考
1	賃金	0	
2	報償費	0	
3	旅費	0	
4	需用費	15,186	印刷製本費 11,040 チラシ 食糧費 4,146 お茶
5	役務費	440	手数料 440 チラシ印刷代振込手数料
6	委託料	0	
7	使用料及び賃貸料	0	
8	工事請負費	0	
9	原材料費	0	
10	備品購入費	0	
11	積立金	0	
12	合計(B)	15,626	

収支差額(A) - (B)	0
---------------	---

## 事業別収支計算書

中央西地域自治区

中央西まちづくり推進委員会

事業名	中央西地区親睦ミニバレーボール大会事業
-----	---------------------

## (1) 収入の部

(単位：円)

番号	項目	金額	備考
1	基礎交付金	122,640	
2	補助金	0	
3	負担金	0	
4	繰越金	0	
5	その他	0	
6	合計(A)	122,640	

## (2) 支出の部

番号	項目	金額	備考
1	賃金	0	
2	報償費	0	
3	旅費	0	
4	需用費	117,714	印刷製本費 53,196 チラシ・ポスター代 消耗品費 37,951 賞品代 各ブロック分 8,739 ボール8個、ウイルス対策用品 3,828 子どもの部 準備品 食糧費 14,000 スタッフ弁当・お茶'
5	役務費	4,926	その他 4,816 参加者傷害保険料 手数料 110 参加者傷害保険振込手数料
6	委託料	0	
7	使用料及び賃貸料	0	
8	工事請負費	0	
9	原材料費	0	
10	備品購入費	0	
11	積立金	0	
12	合計(B)	122,640	

収支差額(A) - (B)	0
---------------	---

## 事業別収支計算書

中央西地域自治区

中央西まちづくり推進委員会

事業名	中央西地区大運動会事業
-----	-------------

## (1) 収入の部

(単位：円)

番号	項目	金額	備考
1	基礎交付金	613,549	
2	補助金	0	
3	負担金	0	
4	繰越金	0	
5	その他	0	
6	合計(A)	613,549	

## (2) 支出の部

番号	項目	金額	備考
1	賃金	0	
2	報償費	5,000	5,000 アクション出演団体謝礼
3	旅費	0	
4	需用費	532,399	印刷製本費 15,940 チラシ 14,300 プログラム用紙ミシン目入れ 消耗品費 227,636 競技の参加賞 171,183 競技用品他 19,900 花火・雷管代 48,440 抽選会景品代 食糧費 35,000 ボランティア弁当
5	役務費	76,150	その他 75,600 参加者傷害保険料 手数料 440 チラシ印刷代振込手数料 110 参加者傷害保険振込手数料
6	委託料	0	
7	使用料及び賃貸料	0	
8	工事請負費	0	
9	原材料費	0	
10	備品購入費	0	
11	積立金	0	
12	合計(B)	613,549	

収支差額(A) - (B)	0
---------------	---



## 事業別収支計算書

中央西地域自治区

中央西まちづくり推進委員会

事業名	リサイクル事業
-----	---------

## (1) 収入の部

(単位：円)

番号	項目	金額	備考
1	基礎交付金	3,240	
2	補助金	0	
3	負担金	0	
4	繰越金	0	
5	その他	0	
6	合計(A)	3,240	

## (2) 支出の部

番号	項目	金額	備考
1	賃金	0	
2	報償費	0	
3	旅費	0	
4	需用費	0	
5	役務費	3,240	通信運搬費 3,240 プルタブ、古切手 郵送料
6	委託料	0	
7	使用料及び賃貸料	0	
8	工事請負費	0	
9	原材料費	0	
10	備品購入費	0	
11	積立金	0	
12	合計(B)	3,240	

収支差額(A) - (B)	0
---------------	---

## 事業別収支計算書

中央西地域自治区

中央西まちづくり推進委員会

事業名	中央西花のまちづくり事業
-----	--------------

## (1) 収入の部

(単位：円)

番号	項目	金額	備考
1	基礎交付金	254,450	
2	補助金	0	
3	負担金	30,000	寄せ植え花かご講座参加者負担金 500円×60人
4	繰越金	0	
5	その他	0	
6	合計(A)	284,450	

## (2) 支出の部

番号	項目	金額	備考
1	賃金	0	
2	報償費	24,000	24,000 講師謝礼
3	旅費	0	
4	需用費	252,479	消耗品費 219,459 花材、土 印刷製本費 17,620 ちらし 食糧費 15,400 スタッフ弁当・お茶
5	役務費	7,971	通信運搬費 5,355 参加者への案内葉書 その他 1,736 参加者傷害保険料 手数料 880 印刷、保険振込手数料
6	委託料	0	
7	使用料及び賃貸料	0	
8	工事請負費	0	
9	原材料費	0	
10	備品購入費	0	
11	積立金	0	
12	合計(B)	284,450	

収支差額(A) - (B)	0
---------------	---

## 事業別収支計算書

中央西地域自治区  
中央西まちづくり推進委員会

事業名	ふるさとの歴史伝承事業
-----	-------------

## (1) 収入の部

(単位:円)

番号	項目	金額	備考
1	基礎交付金	2,073	
2	補助金	0	
3	負担金	0	
4	繰越金	0	
5	その他	0	
6	合計(A)	2,073	

## (2) 支出の部

番号	項目	金額	備考
1	賃金	0	
2	報償費	0	
3	旅費	0	
4	需用費	2,073	食糧費 2,073 お茶
5	役務費	0	
6	委託料	0	
7	使用料及び賃貸料	0	
8	工事請負費	0	
9	原材料費	0	
10	備品購入費	0	
11	積立金	0	
12	合計(B)	2,073	

収支差額(A) - (B)	0
---------------	---

## 事業別収支計算書

中央西地域自治区  
中央西まちづくり推進委員会

事業名	子どもとおとなの交流会事業
-----	---------------

## (1) 収入の部

(単位：円)

番号	項目	金額	備考
1	基礎交付金	0	
2	補助金	0	
3	負担金	0	
4	繰越金	152,360	
5	その他	0	
6	合計(A)	152,360	

## (2) 支出の部

番号	項目	金額	備考
1	賃金	0	
2	報償費	36,000	36,000 講師、補助者謝礼
3	旅費	0	
4	需用費	102,570	消耗品費 13,670 紙皿、紙コップ、箸等 賄い材料費 40,500 印刷製本費 48,400 チラシ：西池小、附属小
5	役務費	1,790	その他 1,680 参加者傷害保険料 手数料 110 参加者傷害保険振込手数料
6	委託料	0	
7	使用料及び賃貸料	12,000	12,000 施設使用料
8	工事請負費	0	
9	原材料費	0	
10	備品購入費	0	
11	積立金	0	
12	合計(B)	152,360	

収支差額(A) - (B)	0
---------------	---

## 事業別収支計算書

中央西地域自治区  
中央西まちづくり推進委員会

事業名	体験学習事業
-----	--------

## (1) 収入の部

(単位：円)

番号	項目	金額	備考
1	基礎交付金	103,481	
2	補助金	0	
3	負担金	0	
4	繰越金	0	
5	その他	0	
6	合計(A)	103,481	

## (2) 支出の部

番号	項目	金額	備考
1	賃金	0	
2	報償費	0	
3	旅費	0	
4	需用費	93,331	印刷製本費 13,130 チラシ 食糧費 42,230 スタッフ弁当、お茶 消耗品費 26,815 準備品 11,156 参加賞
5	役務費	6,150	その他 5,600 参加者傷害保険料 手数料 550 傷害保険、チラシ振込手数料
6	委託料	0	
7	使用料及び賃貸料	4,000	4,000 トラック借上げ
8	工事請負費	0	
9	原材料費	0	
10	備品購入費	0	
11	積立金	0	
12	合計(B)	103,481	

収支差額(A) - (B)	0
---------------	---

## 事業別収支計算書

中央西地域自治区  
中央西まちづくり推進委員会

事業名	子育てサポート事業
-----	-----------

## (1) 収入の部

(単位:円)

番号	項目	金額	備考
1	基礎交付金	58,289	
2	補助金	0	
3	負担金	0	
4	繰越金	0	
5	その他	0	
6	合計(A)	58,289	

## (2) 支出の部

番号	項目	金額	備考
1	賃金	0	
2	報償費	0	
3	旅費	0	
4	需用費	57,959	消耗品費 1,177 QRコード一式 35,000 地域サポート事業(歩こう会) 印刷製本費 2,950 KOTONカード周知チラシ印刷 18,832 ちボラカード(西中新1年生分)
5	役務費	330	手数料 330 チラシ代引き手数料
6	委託料	0	
7	使用料及び賃貸料	0	
8	工事請負費	0	
9	原材料費	0	
10	備品購入費	0	
11	積立金	0	
12	合計(B)	58,289	

収支差額(A) - (B)	0
---------------	---

## 事業別収支計算書

中央西地域自治区  
中央西まちづくり推進委員会

事業名	子どもふれあい広場事業
-----	-------------

## (1) 収入の部

(単位:円)

番号	項目	金額	備考
1	基礎交付金	0	
2	補助金	0	
3	負担金	0	
4	繰越金	173,477	
5	その他	0	
6	合計(A)	173,477	

## (2) 支出の部

番号	項目	金額	備考
1	賃金	0	
2	報償費	5,000	5,000 ミニSL運転謝礼
3	旅費	0	
4	需用費	71,712	消耗品費 2,313 イベント準備品 32,896 南九大サイエンス準備品 10,659 チラシ用紙 印刷製本費 1,040 カラーコピー 食糧費 24,804 スタッフ弁当・お茶
5	役務費	6,965	その他 4,760 参加者傷害保険料 通信運搬費 2,205 参加者案内葉書
6	委託料	0	
7	使用料及び賃貸料	89,800	30,800 テント他レンタル代 55,000 ミニSL運行燃料、保守他 4,000 準備品運搬用軽トラ借上げ
8	工事請負費	0	
9	原材料費	0	
10	備品購入費	0	
11	積立金	0	
12	合計(B)	173,477	

収支差額(A) - (B) 0

## 事業別収支計算書

中央西地域自治区  
中央西まちづくり推進委員会

事業名	事務局運営事業
-----	---------

## (1) 収入の部

(単位:円)

番号	項目	金額	備考
1	基礎交付金	449,703	
2	補助金	0	
3	負担金	0	
4	繰越金	552,674	
5	その他	49	預金利息
6	合計(A)	1,002,426	

## (2) 支出の部

番号	項目	金額	備考
1	賃金	280,140	280,140 臨時雇給
2	報償費	0	
3	旅費	101,750	101,750 役員・委員活動経費
4	需用費	131,402	消耗品費 45,813 事務用品 24,310 センタ-印刷機印ク・マスター代 食糧費 61,279 部会用お茶
5	役務費	94,344	通信運搬費 500 切手ほか 66,504 電話代 手数料 110 委員年間保険振込手数料 5,500 パソコン設定料 330 消耗品代振込手数料 その他 21,400 委員年間保険料
6	委託料	0	
7	使用料及び賃貸料	65,340	65,340 プリンターリース
8	工事請負費	0	
9	原材料費	0	
10	備品購入費	329,450	211,970 テント 117,480 事務局パソコン
11	積立金	0	
12	合計(B)	1,002,426	

収支差額(A) - (B)	0
---------------	---



## 事業別収支計算書

中央西地域自治区

中央西まちづくり推進委員会

事業名	まちづくり広報事業
-----	-----------

## (1) 収入の部

(単位:円)

番号	項目	金額	備考
1	基礎交付金	0	
2	補助金	0	
3	負担金	0	
4	繰越金	357,750	
5	その他	0	
6	合計(A)	357,750	

## (2) 支出の部

番号	項目	金額	備考
1	賃金	0	
2	報償費	0	
3	旅費	0	
4	需用費	105,100	印刷製本費 47,820 かわら版A4版印刷 52,230 新聞A3版印刷 960 まちづくり新聞拡大コピー 1,890 チラシ その他 2,200 掲示板修繕費
5	役務費	1,650	手数料 330 チラシ代引き手数料 その他 1,320 印刷代振込手数料
6	委託料	13,400	13,400 まち新聞・チラシ折作業委託
7	使用料及び賃貸料	0	
8	工事請負費	0	
9	原材料費	0	
10	備品購入費	237,600	237,600 掲示板更新(壁付け)1か所
11	積立金	0	
12	合計(B)	357,750	

収支差額(A) - (B) 0

## 事業別収支計算書

中央西地域自治区  
中央西まちづくり推進委員会

事業名	地域の魅力アップ事業
-----	------------

## (1) 収入の部

(単位：円)

番号	項目	金額	備考
1	基礎交付金	16,380	
2	補助金	0	
3	負担金	0	
4	繰越金	0	
5	その他	0	
6	合計(A)	16,380	

## (2) 支出の部

番号	項目	金額	備考
1	賃金	0	
2	報償費	0	
3	旅費	0	
4	需用費	15,940	印刷製本費 15,940 チラシ
5	役務費	440	手数料 440 チラシ代引き手数料
6	委託料	0	
7	使用料及び賃貸料	0	
8	工事請負費	0	
9	原材料費	0	
10	備品購入費	0	
11	積立金	0	
12	合計(B)	16,380	

収支差額(A) - (B)	0
---------------	---

## 事業別収支計算書

中央西地域自治区  
中央西まちづくり推進委員会

事業名	中央西みんなの情報ひろば事業
-----	----------------

## (1) 収入の部

(単位：円)

番号	項目	金額	備考
1	基礎交付金	428,620	
2	補助金	0	
3	負担金	0	
4	繰越金	0	
5	その他	0	
6	合計(A)	428,620	

## (2) 支出の部

番号	項目	金額	備考
1	賃金	0	
2	報償費	0	
3	旅費	0	
4	需用費	0	
5	役務費	1,300	手数料 1,100 委託振込手数料 200 委託収入印紙代
6	委託料	360,000	360,000 業務委託
7	使用料及び賃貸料	67,320	67,320 LINE年間使用料
8	工事請負費	0	
9	原材料費	0	
10	備品購入費	0	
11	積立金	0	
12	合計(B)	428,620	

収支差額(A) - (B)	0
---------------	---

## 事業別収支計算書

中央西地域自治区

中央西まちづくり推進委員会

事業名	災害対応資機材等購入事業
-----	--------------

## (1) 収入の部

(単位:円)

番号	項目	金額	備考
1	基礎交付金	31,560	
2	補助金	0	
3	負担金	0	
4	繰越金	0	
5	その他	0	
6	合計(A)	31,560	

## (2) 支出の部

番号	項目	金額	備考
1	賃金	0	
2	報償費	0	
3	旅費	0	
4	需用費	31,560	消耗品費 31,560 ソーラー充電器×2台
5	役務費	0	
6	委託料	0	
7	使用料及び賃貸料	0	
8	工事請負費	0	
9	原材料費	0	
10	備品購入費	0	
11	積立金	0	
12	合計(B)	31,560	

収支差額(A) - (B)	0
---------------	---

様式第9号

宮崎市地域コミュニティ活動交付金繰越届出書

令和5年5月11日

宮崎市長 清山 知憲 殿

主たる事務所の所在地	宮崎市祇園1丁目49番地
名 称	中央西まちづくり推進委員会
代表者の氏名	委員長 徳満 秀夫
電 話 番 号	0985-69-0507

令和4年5月31日付けで変更交付承認のありました地域コミュニティ活動  
交付金については、決算において、1,967,131円の残金があり、繰越金として  
次年度の会計へ繰り越しますので届け出ます。

繰越金内訳

基礎交付金	1,967,131 円
特例交付金	0 円

添付書類

令和4年度収支決算書

令和5年5月11日

令和4年度 中央西地域自治区まちづくり推進委員会への意見書 [事業実施報告]

中央西地域自治区地域協議会  
会長 赤木 敏弘

令和4年度の中央西地域自治区の地域まちづくり事業実施報告及び収支決算について、事業計画及び収支予算に沿って適正に執行されていきましたので、承認いたします。なお、承認に際し、下記の意見がありましたので、対応を検討いただきますようお願いいたします。

記

1 総括

コロナ禍が継続する中においても、地域課題解決のために、感染対策を図り、工夫した取り組みによって、適正な運営が図られ、概ね期待通りの成果を得られました。今後は感染症対策による制限が緩和されていくことが予想されますので、地域住民が、より一層、気軽にまちづくりに参画できるような事業のあり方等について検討をお願いします。

2 事業の推進体制

地域の各種団体の弱体化が喫緊の課題であるため、まちづくり推進委員会と各種団体との連携のより一層の強化を図ることにより、各種団体の活性化、さらに中央西地区全体の活性化に繋がるように努めてください。

3 各事業への意見（意見のある事業のみ記載）

事業名	意見
中央西花のまちづくり事業	参加者のアンケートの声を参考に講座の運営方法を考えるとよいと思う。
体験学習事業 (ウォーターサバイバル)	管理組合がイベント等のチラシの掲示を許可しているマンションもあるので、周知する手段のひとつになると思う。
中央西地区大運動会事業	「みんなの情報ひろば」を利用して、運動会の様子や結果を配信するなど、地域住民とのふれあいや参加することの楽しさを伝えることも大事だと思う
中央西地区防災事業 (防災フェスタ)	防災対策の実施状況について、パネルにシールを貼っていくコーナーについては、帰宅後に復習できるように一覧にまとめたプリントなどがあるとよいと思う
子どもふれあい広場事業	イベント終了後の反省会において、南九州大学の学生さんから、会場の変更等について直前に知らされて戸惑ったとの意見があったので、今後も継続して事業に協力していただけるよう、より緻密な打ち合わせをお願いしたい。